

教育に関する県民意識調査 自由記述回答の状況 (一般県民対象)

設問(36) 自然・文化・歴史などの地域の特性や、県内の高等教育機関を生かした教育を宮城で行うとしたら、どのようなものが考えられますか。(自由記述)

意見の内容	回答件数(のべ)
宮城の自然, 農業・水産業, 食文化などに関すること (主な意見項目) 農業・漁業体験, 地域の特産品を使った食育, 動植物の観察, 地域間交流, 地震災害教育, 自然を生かしたスポーツ等	115
宮城の歴史・文化などに関すること (主な意見項目) 地元の名勝や旧跡、文化、歴史等の学習, 地域の祭り・芸能への参加, 歴史に関する講座開設, 田舎や訛に誇りを持たせる教育等	77
大学, 専門家, 公開講座などに関すること (主な意見項目) 小中学校と大学との連携, 大学の特色を生かした公開講座, 大学公開講座の地方開催等	45
就業体験などに関すること (主な意見項目) 工場見学・職場体験・インターンシップの機会の充実, 地場産業の体験, ものづくりによる教育等	9
その他 (主な意見項目) 清掃などの社会奉仕活動, 県内出身著名人による講座, PTA・地域の活用等	102
計	348

※記述一覧は別紙(P1~)

設問(37) その他, 教育に関してご意見等がありましたら記入願います。(自由記述)

意見の内容	回答件数(のべ)
学校教育・行政の役割などに関すること (主な意見項目) 教員の指導力向上, 教員の多忙化解消, 子どもの学力向上, 心の教育, 学校週5日制, 教育費の負担軽減等	191
家庭・地域の役割, 親・大人の教育などに関すること (主な意見項目) 家庭でのしつけ, 基本的な生活習慣の確立, 地域の人間関係形成, 親のあり方, 大人のモラル等	118
社会全体の風潮, 経済状況などに関すること (主な意見項目) 経済格差, 地域格差, 犯罪, 情報メディア, 学歴社会, 言葉の乱れ等	37
生涯学習・スポーツ・芸術などに関すること (主な意見項目) 大人が学ぶ機会の充実, スポーツ・レクリエーション活動の充実等	25
その他 (主な意見項目) 体験学習, 夢を育む教育, 宗教等	56
計	427

※記述一覧は別紙(P17~)

教育に関する県民意識調査(一般県民対象)

自由記述回答一覧

《記述内容について》

- ① 原則として原文のまま公開しています。
- ② 特定の個人名・団体名が判別できる表現については割愛、又は一部修正しています。
- ③ ●は再掲の意見です。

設問(36) 自然・文化・歴史などの地域の特性や、県内の高等教育機関を生かした教育を宮城で行うとしたら、どのようなものが考えられますか。(自由記述)

＜宮城の自然、第一次産業、食文化などに関する意見＞

(年齢、地区)

- 各市町村の歴史、文化、自然を発信するために、連携を取り保護者、教員、あらゆる関係団体と協力し活動してもらいたい。(50～59歳、仙台)
- 地域の特産品を使った食育の充実。伊達家の歴史を学ぶ講座。(40～49歳、仙台市)
- ゆとり教育の中、両親が働いている場合、地域の学童保育を増やして地域の人が自然、歴史等の勉強会を充実してほしい。(50～59歳、仙台)
- ふるさと学習会などを通じて子どもから大人までのその地域の自然、文化、歴史など、より多くの方々に楽しく勉強できる機会があれば他地域の人達に何らかの形で伝えることができると思う。(50～59歳、気仙沼・本吉)
- 校外学習の機会を増やし、自然・文化・歴史について専任の方々から学び、案内ボランティア的な活動を実施する。(50～59歳、仙台)
- 田植えや収穫体験(食育)、総合学習等での地域の歴史の研究、夏休みなどに自由研究にできるようなイベントや研修。例えば、歴史上の人物のゆかりの場所を訪ねる、その地域の昔のことをよく知っている人を訪ね、現在との違いを教わるなど。(40～49歳、大崎)
- 身近に自然がたくさんある場所に住んでいます。年に1回泉区の中学生在が自然体験で民家に泊まり、田植えなどを行っています。とても良いことだと思います。できれば年に何回かこのような体験をさせてあげたいと思います。泊まらなくても田んぼの経過を見せてあげるなど……。地元の歴史、県内の歴史にふれる機会が少ない様に思う。生まれ育った所のことぐらいいは知ってもらいたい。(30～39歳、大崎)
- 石巻地方には本格的な博物館、美術館がないに等しいので、建設し充実させる必要を感じる。地域の自然、歴史等々の探訪などを教育に積極的に取り入れ、その良さを教えることが人間形成教育の一助になると考えます。(60～69歳、石巻)
- 郷土料理、郷土芸能、郷土歴史等を地域のコミュニティセンター設置区ぐらいの割で全世帯複合型で学び合えるもの等が考えられます。(40～49歳、仙台市)
- 伝統野菜を使った食文化について。宮城の風土、それぞれの特産品についての歴史的な背景について。(30～39歳、仙台市)
- 恵まれた自然と豊かな郷土に根ざした伝統芸能はその地域の特色ある文化だと思います。そして、また、その地域の歴史でもあります。いつかは寂れて伝統ある芸能も幻の伝統芸能にならないように地域の小学生の頃から地元で伝承活動を推進して行くべきではないかと思う。(神楽や鹿踊り等の伝承会活動)(60～69歳、登米)
- 自然・・・(体験)農業、登山、合宿
文化・・・伝統芸能
歴史・・・地域のお年寄りの話を聞く etc。(30～39歳、大崎)
- ほぼ小中学校では地域での特性を勉強視察していますので、あえてありません。ただ回数が少ないので、いつも、自然、文化、歴史、にふれられる催し物を地域で多く開催して親と子が向き合える場は必要だと思います。(40～49歳、石巻)
- 宮城は米の生産が有名です。農業体験を生かして食の大切さ、食育、また自然のすごさを知ってほしい。また、宮城は歴史上でも有名な人物がありますが、歴史上の人物の生き方(苦難をどのように切り抜けていったか等)を学び、これから生きていくのにヒントにしてほしい。(30～39歳、仙南)

- ①ふるさと検定が各会議所で実施されていますが、似たような内容を授業に取り入れるのも楽しいのでは！ (60～69 歳、石巻)
- ②自然・文化・歴史を守っている人々を講師として迎え、話を聞くのも良いのでは！
- 特に地域の優位性は感じない。ただ、県民として宮城の自然、文化、歴史を学ぶ時間はもっと必要。さらにこれらを含め、企業（工場）見学など課外学習の場を増やし、子供たちの興味や感性を高めてやるのが大切。 (50～59 歳、仙台市)
- 自然、文化、歴史など、地域の特性を生かすのであれば、やはり特に子供たちに興味を持たれやすい歴史的な部分に着目したい。普段は縁があまり無いように思われる歴史だが、英雄伝などを聞けば自ずと子供の興味はひけると思う。様々な歴史的背景を持つ宮城であるので、歴史上の英雄や出来事に注目が集まる今、文化や歴史を子供たちに伝えていく手段として有用ではないだろうか。 (20～29 歳、仙南)
- 自然、文化だったら小学生、歴史だったら中高生の時に実際にやってみたら良いと思います。自然に触れたり、自分の県の文化を知ったり・・・。具体的じゃなくてすみません。 (20～29 歳、仙南)
- 南三陸の地形と産業の発展、捕鯨の歴史、食文化、民芸品、多賀城址跡から学べることなどの地域性を生かした授業を増やしていく。 (30～39 歳、仙台市)
- ①各世代別もしくは親子で参加できるツアーやイベントの開催。
②後世に残すべきもの（自然や建物等）については、社会見学や遠足等で子どもが小さいときから大切なものであることを教える。 (20～29 歳、仙台)
- 「もみの木は残った」跡、自然、文化、歴史を通した教育、地域文化歴史として高等教育機関に取り入れてほしい。 (60～69 歳、仙南)
- 体験を重視した教育。農業体験など大学教授の授業を小中高で行ってみる。教授は小中高教諭よりもはるかにユニークな授業をしてくれるからこれをきっかけに勉強の楽しさに気づけるのではないか。 (20～29 歳、仙台)
- 野外活動として、遠足先での青空教室。遺跡、史跡での講演会。河川の周辺環境を体験する。梅田川、七北田川、広瀬川での水生生物の学習を実際に川の中で遊びながら学ぶ、などの体験学習を地域ごとに企画し、講師として県立大学や国立大学の先生に来ていただく。毎月定期的に企画し、市民全員が一度は参加できる体制にする。 (40～49 歳、仙台)
- ①近間に山・海があり、自然が豊富である。山と海の係わりを臨海学校、海浜学校等の行事を通し明らかにし、ひいては地球環境に配慮できる人間を造る。
②高等教育機関の出前講演を中学校・高校で実施し、中高生に将来の夢を与え自分の進路を選択する上での参考とさせ、目標を持って学習させる。 (50～59 歳、大崎)
- 体験を重視した教育。農業体験など大学教授の授業を小中高で行ってみる。教授は小中高教諭よりもはるかにユニークな授業をしてくれるからこれをきっかけに勉強の楽しさに気づけるのではないか。 (20～29 歳、仙台)
- 県内に住んでいながら大人をはじめ歴史や自然がわからない人がいっぱいいると思うので大学・高校生を通して、小中学生にもっとかかわりあっていけるよう、また、学習について行けない子には大学・高校生にボランティアで教えてもらったりして大学・高校生には小中学生にもっといっぱいかわりがあっていけるように今の大学・高校生は遊び転がっている、十代を有意義に。 (50～59 歳、登米)
- 我が食卓で目にする野菜や魚について農業・水産業を大学の院生、学生などが小学生達とディスカッションの形で一緒に話し、食す。どうして野菜が育つのか、現在の問題は何か。なるべく同じ目線、違う視点で話すために学生が良いと思う。 (20～29 歳、仙台市)
- ①宮城の食の安全に対する教育 ②防災の知識を高める教育 ③福祉に関する教育 (50～59 歳、仙台)
- 農林、水産業を生かした高等学校が減っています。もう少し、〇〇農林高校や△△水産高校を誇りを持って後継人物を育ててほしいです。だってほとんどの人々が県内のそういう企業にその後勤めているのですから。 (30～39 歳、仙台市)
- 自然保護のプログラム作成。県内生産の食材の加工、開発。 (50～59 歳、大崎)
- 子ども達（いろんな学年、学校が混ざり合った）が山でキャンプをしたり、山登りをしたり、高校生ぐらいただたらいろんなところで職業を体験したり、いろんなことに触れる、実際に体験して、自分で感じたり考えたりできると自立した人間になるのでは？そして地域のことも知ることができるのでは？ (30～39 歳、大崎)
- 各地域に存在する地場産業等の体験。 (30～39 歳、仙南)
- 農業高校はいつでも自由に入れて農作物の購入を出来るようにする。工業高校は溶接等の修理をしてもらえたりパソコン等の指導など地域との関わりが出来る環境を作れば生徒も社会との関わりが出来ると思います。普通高校は、いままで通り受験に (40～49 歳、登米)

- 向けて学習向上を目指して欲しい。
- 各地域の基幹産業の先達者の色々の経験を授業にとり入れ話を聞く時間があるとい
いと思います。高校生等に。 (50～59 歳、気仙沼・本吉)
 - 山手の地区と浜辺の地区とで特産品がありそれを生かして小学校や中学校、或いは先
生に地域の方が加工品の作り方等を指導したり、お話ししたりしていることは大変い
いことだと思います。 (無回答、仙台)
 - 自然を生かしたスポーツイベント、特産品を使った料理イベント、歴史などをゲーム
感覚で身に付けやすい取組など。 (40～49 歳、栗原)
 - 小さい5歳で終戦。父は7歳でビルマから帰りました。死亡するまで父親と心を開い
て話すこともなく84才で父は亡くなりました。近所のおじいさん、おばあさんが分
け隔て無く見つめてくれて、自然の中で楽しく暮らせました。お友達も、兄妹のよう
に遊びました。学びました。学校の標語は「良く学べ」「良く遊べ」でした。今の子
ども達はきちんと歩いていません。まっすぐ前を見て歩いてください。ズボンもスカ
ートもやっぱりきちんと履いてください、と祈っています。 (60～69 歳、栗原)
 - 昔遊んだ自然と一体になる遊び、どろんこ遊び、上下の年齢関係なく地域の中で子ど
もの声が聞こえる地域。 (50～59 歳、栗原)
 - 宮城といっても広く、その地域の特性が違うので県内統一した教育は幅が広すぎる。
海のあるところは海なりの、山のあるところは山なりの、中山間地域は中山間なりの、
それに対応した教育をしていったら良いと思う。 (40～49 歳、気仙沼・本吉)
 - 学校教育への取り入れ・・・調理実習に伝統料理と歴史を学ぶなど地元企業技術等
について講座を開く。科学館や博物館等の展示のPRを強化。 (40～49 歳、登米)
 - 一次産業と教育を結びつけた活動の強化 (40～49 歳、気仙沼・本吉)
 - 農業体験（土づくりから収穫まで） (40～49 歳、大崎)
 - ウィンタースポーツを通じて自然に触れる。 (40～49 歳、大崎)
 - 米どころ宮城！水産宮城！食に関する文化を県民の歴史と共に子ども達にしっかり
教え、県人としての誇りを持たせることが大切。 (40～49 歳、気仙沼・本吉)
 - 里山の保全、林道などの下草などの手入れ、また、その周辺に生息する動植物たちの
観察。 (30～39 歳、仙台市)
 - 自然体験教室 (40～49 歳、大崎)
 - 自然がたくさんあるので、それを生かしてキャンプや、自分で電気などを使わずに自
然の力を生かせる学習。 (20～29 歳、大崎)
 - 農業。 (40～49 歳、仙台)
 - 地域の特産品を利用して、亘理なら苺ジャム作りや、はらこ飯などの伝統料理を学校
で作らせたり、鳴り砂清掃に参加させて自分たちの力で地域を守り続けて行くことな
ど身近な体験をこれからの子ども達にさせていくことにより、自分たちの地域に対す
る考え方がまた変わってくると思います。自分の地域を誇れることのできる子ども達
に育てて欲しいと希望します。 (40～49 歳、仙台)
 - 一次産業の学習 (20～29 歳、石巻)
 - 私の住んでいる大和町は素晴らしい自然がいっぱいあります。宮城県民に教えてほし
いです。素晴らしい滝やブナ林など心がなごみますよ！ (50～59 歳、仙台)
 - 米づくりを体験し、大変な思いをして作る米に感謝の心を学ぶ。 (30～39 歳、仙台)
 - 特産品作り、名産品作りに協力（体験） (30～39 歳、仙台市)
 - 自然と人間の関わりや営み（農業、漁業）をよく理解出来るようにすること (50～59 歳、栗原)
 - 宮城には山、海と自然がいっぱいあります。自然があつての人間、人間も動物の一部
という事がわかる様に小さい時いっぱい自然に触れさせそして怪我をしたり、助けあ
ったり心の触れる教育を望みます。それには私達だけでなく、TV、雑誌の規制とか
大きな力も必要と思います。早寝早起きと言っても親が帰ってこないのでは出来ませ
ん。8時には店は閉めるとか。そうしたら家族団らんもあるでしょう！！そうなれば
店が開いていなくても気を引き締め皆気をつけて生活するのです。健全な生活に健全
な精神が育つように。一度には無理でもいろんな事を少しずつ変えていかなくては。
あとに続く子どもを育てる社会が必要と思います。 (50～59 歳、仙台)
 - 地域の環境を生かした自然の中での年代を超えた生産や奉仕活動。 (50～59 歳、栗原)
 - 地場産の物を生かして簡単に食して口から口に伝えられる（食べる→喜ぶ→話のはず
む） (40～49 歳、栗原)
 - 体験農業などどうでしょう！ (50～59 歳、気仙沼・本吉)
 - 安全な食料の確保、森林の大切さ、身近なものが一番大事、大切。 (50～59 歳、石巻)

- 宮城では海も山もあるので、それぞれの良さを実感できる体験学習などを行い、心豊かな子供たちを育ててほしい。(登山やハイキング、魚釣りや地引網体験など) (40～49 歳、仙南)
- 自分の地域の自然を保全する教育、素朴な人間関係を大切にコミュニケーションの機会をつくる。(ex. 区民祭りなどとてもいいと思います) (60～69 歳、仙台市)
- 平成 20 年 6 月 14 日の岩手宮城内陸地震では大変怖い思いをしましたが、今迄栗駒山・花山等には長い間多大な恩恵を受けておりましたのに誰が想像したでしょうか？いまだに余震が続く不安と隣り合わせでこれからも生活していく上で、一人一人が自覚して生活していくというこれからの若者達の心構えというか教育が必要だと思います。 (60～69 歳、栗原)
- 自然の多い地域なので、ただ目的地に行くのではなく植物や小動物(鳥類)等ももっとくわしく観察をいろいろの発見に感激感動するような教育をしていただきたい (60～69 歳、石巻)
- 漁業がさかんなので、そちらを重点的にやってもらいたい。今まで、できなかった魚の養殖などの研究を進めるとか。 (30～39 歳、石巻)
- 自然や食料など。 (50～59 歳、気仙沼・本吉)
- 学校教育の中で、生徒達で考え調べて参加、出品、展示や育てた苗を植える等自主的に取り組む活動を通して感じてもらう。 (30～39 歳、登米)
- 文化人等の講演会等も有意義ですが、各地域で私たちの生活を支えてきた農家の人(種種の生産者)、過去の激励する社会を生き抜いてきた人など身近な人から学ぶ機会があればよいのではないのでしょうか。 (60～69 歳、大崎)
- 他の県では出来ない事。宮城の自然を生かし、食を大切にすることから農業を見直す教育をしては。 (40～49 歳、大崎)
- 宮城のすばらしい自然を大いに利用し生かした教育を考えてほしい。日本三景の松島もあるのですから。そして、身近な自分たちの住んでいる地域の歴史を自分たちの頭や体を使って学ぶ学習をしては如何でしょうか。親子共に学ぶ場もあっていいのでは。 (60～69 歳、石巻)
- 魚のおろし方や調理方法を一般授業にも取り入れて子供の内から身近に接することを多くすれば魚ぎらいが少なくなり消費拡大にもつながる。 (50～59 歳、気仙沼・本吉)
- 地域の住人と戦後生きてきた高齢者と一笑に命の大切と非行防止と食事の感謝と仕付け、そして自然体験を大切に子供の子供の立場になり家庭に呼びかけ指導してください。 (60～69 歳、栗原)
- 宮城に移り住んで 1 年弱しかたっていないので、具体的に地域の特色を例にあげて思い浮かぶ物はないのですが。仙台中心部とのその他地域とでは、情報格差が問題です。緑豊かな宮城県を守っていくのは、若い世代です。そのような中での宮城県全域でのブロードバンド提供の整備が急務だと考えます。他県との学力の差が問題なのではなく、根本的なことを見直し、整備しなければ何も変わらないと思います。 (30～39 歳、石巻)
- ウォーキング等で各地域の歴史、特産品、自然の素晴らしさを知る行事。 (60～69 歳、仙南)
- 私どもの家では、春になると一家で山菜採りに出かけます。中学になった息子は今でも楽しみにしており、自然と”食”というものがどういう様に育っているのか、また、大切さを学んでいるようです。そういう機会を作るのも面白いのではないかと思います。 (30～39 歳、仙台市)
- 自然 (60～69 歳、栗原)
- 宮城は山も海も近いので漁業体験などは？ (20～29 歳、仙台市)
- 課外授業により地域の良さや美しさを肌で感じさせる。県外校との積極的交流。 (30～39 歳、石巻)
- 地域の山、川、海の動植物の説明とそれらを使用した作品や料理をつくる教育。 (40～49 歳、気仙沼・本吉)
- 農業体験。田畑の耕作から、草むしり収穫まで一連の体験を通して、生産、収穫の「大切さ」「大変さ」「喜び」を知り学んでほしい。 (50～59 歳、仙台市)
- 自然体験教育。我が地域では、海に近いので海に関する体験。気仙沼大島では、いろいろ体験するところがあります。関東から修学旅行に大島に来て、自然体験して帰って行きます。その子供達が、大人になってまた、その場所に行きたいなあと思うのではありませんか。 (50～59 歳、気仙沼・本吉)
- 米作りとか、ミソ作りとか、つけ物作りとか食育ですね。とにかく学校では教えない、じいちゃん、ばあちゃんしか知らないものを一緒に作ってみては、昔しめ縄作りしたときはたのしかったなー。 (50～59 歳、栗原)
- 自然の中で生かされ生きている動植物、私達人間は今こそその意味を深く考えるべきだと思います。大自然をおそれ、感謝しつつ日々を暮らしたいです。 (60～69 歳、気仙沼・本吉)
- 宮城県豊かな食材を生かした「食のイベント」。食べ方や食材の歴史、特徴等を踏 (30～39 歳、仙台)

- まえた上で行う。
- 農業体験や自然体験を経験させる時間を多くし、仕事の大変さや自然の素晴らしさ、物を大切にすることを教えてほしい。 (60～69 歳、栗原)
 - 宮城の農業・漁業の人口は減少するばかりです。もっと地域の後継者作りに力を入れてはいかがですか。 (60～69 歳、石巻)
 - 石巻という地域特性上、自然には恵まれると言っていていいと思います。 (40～49 歳、石巻)
 - 自然環境と利便性との調和 (60～69 歳、仙台市)
 - 家庭でも作れる野菜・果物などの作り方を教えていただきたい。スーパーとかお店に並んであるが野菜は種を植えて実がなるんだよという楽しくて食の大切さを小さいうちから教えておくのも大切だと思います。 (20～29 歳、仙南)
 - 豊富な自然環境を生かし、子供たちも野原や山林や海岸など戸外で自由にのびのびと遊び回りながら友達や仲間同士の協調や動植物の生態など観察学習できる環境が益々整備されたら良いかなと思います。 (60～69 歳、気仙沼・本吉)
 - 漁業や農業を体験。キャンプ等の野外活動。 (30～39 歳、石巻)
 - 化石などの地質学的なもの自然観察。 (50～59 歳、気仙沼・本吉)
 - 県で取れる物は輸入にたよらず自給生産のアップ。水産関係の学校を増やし漁業の発展に努めるようにする。 (60～69 歳、気仙沼・本吉)
 - 昔のように四季折々の体験。例えば、秋にはイナゴ取り、親子でふれあいということに対しての話題や競争心が欠けているように思っています。 (60～69 歳、大崎)
 - 自然を身近に触れて感性を育てるため、漁業や農業の体験を県あげて行ってほしいと思います。宮城県は他県と比べても海の幸、山の幸、自然に恵まれているため、子供たちに自然の中での教育が可能と思います。 (40～49 歳、気仙沼・本吉)
 - 米作り、野菜作り、養殖作り、釣り、自給自足の生活 (30～39 歳、気仙沼・本吉)
 - 小学校・中学校・高等学校で農家に来て田んぼに入ってみても良いと思います。田植え・稲刈りに挑戦してみてもいいと思います。 (50～59 歳、登米、無回答)
 - 自然に恵まれた地域ならではの特色を生かし、例えば田植えや川遊び、海での魚釣りなど体を使っての体験をさせてあげたい。そのような体験が、心や体をそして勉強を生かしてくれると思う。 (30～39 歳、気仙沼・本吉)
 - 子ども達に農業体験をさせる。食育の教育にもなると思います。 (60～69 歳、登米)
 - 宮城県は、石巻、塩竈、気仙沼港など、世界でも屈指の漁業県であると思います。この漁業の特色を取り入れた教育が必要と思います。 (60～69 歳、石巻)
 - 農業体験。 (20～29 歳、栗原)
 - ①伊豆沼、内沼の生態系がこれからどのように変化していくのか？(ブラックバスは駆除可能か?) (50～59 歳、栗原)
 - ②栗駒山系の地層についての研究
 - 農業 (20～29 歳、仙台)
 - 一目千本桜、白鳥飛来地、ラベンダー、何か教育的に活用できないものでしょうか？勿体ないと思います。 (60～69 歳、仙南)
 - 私の頃は、休日に先生にいろんなところへ連れて行ってもらった記憶がある。写生、河北美術展、大学祭等々。現在の子供達は休日は何をしているのか把握はしていないが、大部分は家にこもっているのではないか。スポーツ団の親子はそれなりの楽しみ方はあるが、自然、文化、歴史となると子どもだけでなく親の方も尻込みするはず。各校に博物館、資料館、美術館を割り当て、夏、冬休みにレポート提出させるのはどうでしょうか。また、農業、水産業などへの体験レポートなども面白いかもしれないが、いずれも強制的にとられると難しくなると思います。とにかくバーチャル志向の若い人達をどう導くのか、当面する大きな課題です。 (50～59 歳、仙台)
 - 修学旅行は本来の目的を逸脱して教育に関係なく豪華とレジャー性が強くなっている。小中学は県内の歴史、資料、自然にじっくり触れさせるべきだ。高校から国内を少し体験させるようにしても良いと思う。自分の出身地、県を知らない者が多い。 (30～39 歳、仙台)
 - 歴史の映画会。植物園の学習。 (40～49 歳、仙台市)
 - ①歴史学 ②生命自然学 ③健康増進学 ④農工商の実践学 ⑤食物・水の将来 (60～69 歳、仙南)
 - ①宮城県沖地震などの体験談を聞き(学校と地域の交流)、今後発生が予想される地震への備えを考える。 (20～29 歳、大崎)
 - ②地産地消を中心とする食育の実践や、地域や県の歴史教育を通じて、郷土を愛する心を育てる。
 - 今住んでいる地域について講座を企画し(例えば歴史や言語、地形等)計画的、継続 (60～69 歳、気仙沼・本吉)

的に中央から派遣を行う。自分の地域について知ることから始めてほしい。

- 宮城県は大学が多数ありますので、小中学生ぐらいから大学の様子を見させる。又、大学生と交流させることによって勉強の楽しさや必要性が小さいときから理解できると思います。
自然環境が日本の中でも大変に恵まれた県と思います。良すぎるため努力が無くなりますので厳しい環境を体験させることも必要と思います。冬の北海道、夏の沖縄など他県の方々が厳しい環境で生活している事を理解させることによって自分たちももっと努力する事が必要と自覚できると思います。(50～59 歳、石巻)
- その道の専門家を学校に招き授業や講話など実施し、自然・文化などと直接ふれあい、生徒個々に感動を与えられるような工夫。(70 歳以上、大崎)
- 都市部と農、漁業地区との交流（子ども達の）を盛んにすることで、視野も拡がり、社会性やコミュニケーション能力等にも良い影響があるのではないかと思います。宮城は「様々な地域」という意味では恵まれているので、それを更に有効に活用することができるのではないのでしょうか。(50～59 歳、仙台市)

<宮城の歴史、文化などに関する意見>

- 私の頃は、休日に先生にいらんところへ連れて行ってもらった記憶がある。写生、河北美術展、大学祭等々。現在の子ども達は休日は何をしているのか把握はしていないが、大部分は家にこもっているのではないか。スポーツ団の親子はそれなりの楽しみ方はあるが、自然、文化、歴史となると子どもだけでなく親の方も尻込みするはず。各校に博物館、資料館、美術館を割り当て、夏、冬休みにレポート提出させるのはどうでしょうか。また、農業、水産業などへの体験レポートなども面白いかもしれないが、いずれも強制的にとられると難しくなると思います。とにかくバーチャル志向の若い人達をどう導くのか、当面する大きな課題です。(50～59 歳、仙台)
- 修学旅行は本来の目的を逸脱して教育に関係なく豪華とレジャー性が強くなっている。小中学は県内の歴史、資料、自然にじっくり触れさせるべきだ。高校から国内を少し体験させるようにしても良いと思う。自分の出身地、県を知らない者が多い。(30～39 歳、仙台)
- 歴史の映画会。植物園の学習。(40～49 歳、仙台市)
- ①歴史学 ②生命自然学 ③健康増進学 ④農工商の実践学 ⑤食物・水の将来(60～69 歳、仙南)
- ①宮城県沖地震などの体験談を聞き（学校と地域の交流）、今後発生が予想される地震への備えを考える。
②地産地消を中心とする食育の実践や、地域や県の歴史教育を通じて、郷土を愛する心を育てる。(20～29 歳、大崎)
- 今住んでいる地域について講座を企画し（例えば歴史や言語、地形等）計画的、継続的に中央から派遣を行う。自分の地域について知ることから始めてほしい。(60～69 歳、気仙沼・本吉)
- 宮城の方言大学、方言を思い切り使って感情表現等。高齢者に安い聴講代で大学教育を！！
各地の文化遺産を使って考古学講座。(60～69 歳、石巻)
- 文化財の歴史等の講座・研究などをおして地域を知る事。(60～69 歳、栗原)
- 地域に残されている昔からの文化伝統芸能を進んで受け継ぐ事が大切だと思います。例えば、お神楽などその地域の風土風俗により異なるものを次の世代に残す必要があると考えます。若い次世代の人たちに伝えないと、そのまま自然に消え去るのではないかと心配する。高校教育機関においても、こうした文化伝統を残せるような教育を取り入れることも必要と思います。(60～69 歳、栗原)
- 地域の歴史に詳しい専門家による出前授業や地場産業を体験できるようにする。そのことを通じて、地域の事への理解が深まる。(30～39 歳、仙南)
- 宮城県で生まれ育ったものでありませんが歴史で教わった伊達だけは何となくわかります。私のような人間にも気軽に受けられる、教えて頂ける講座などあるのでしょうか。また、仙台だけで行事を行われていますが、交通の便、時間のことなど出て行けないこともあります。(60～69 歳、仙台)
- 地域の伝統文化や伝統芸能などに子ども達ももっと関心を持ち、地域に愛着を持つように学校と地域が連携して取り組むことが大切。総合的な学習の時間の授業等に地域の教育力を生かせるように、地域に在住する人の中で各分野で専門的な知識、技能を(20～29 歳、石巻)

持っている人やゲストティーチャーとして活動をお願いできる方を学校に名簿登録してもらおうなどの取組が考えられる。

- 小・中・高～日本の文化（心のありかた）について各専門の方～のボランティアでできない子供たちを育ててほしいと切に思います。各家庭の状況により育まれてない心を「学校」という学びの場で学問だけでなく「あいさつ」おはよう、こんにちは、こんばんは、と自然に言えるように、そして「感謝の心」を持てる心豊かな子供たちを大人が育て上げなければという時代です。 (50～59 歳、仙台市)
- ①文化的遺産を保存すること。明治や昭和の建築物など。 (60～69 歳、仙台)
 ②クラシック 1, 0 0 0 円コンサートを継続すること。
 ③経済振興を目的とした町おこしなどの文化活動はひかえること。
- 涌谷の天平ろまん館はとてもよい施設なのでもっと多くの小中高生に来てもらいたい。我が町には「ここがすごい」をアピールする HP 作りを小中高生にも企画から参加してもらおう。 (30～39 歳、大崎)
- 30 年前は部落毎にお神輿をかついたり、少年野球や芋煮会などがありました。もう一度地域ぐるみでやってみたらどうでしょうか？廃品回収やクリーンアップ大作戦もありました。 (30～39 歳、石巻)
- 高校に地元の歴史を勉強できるコースなどがあつたらいいと思います。また、高専があるので工業高校と高専と一緒に発表できるコンクールなどあつても良いと思います。 (40～49 歳、仙南)
- 地域の歴史等に触れ合うことをもっと多くできるようなサークルを地域で作り、基本的な言葉遣い、あいさつ、昔からその地域に残っている文化を引き継いで行く、そんな自然人間、心の優しい人づくりを進めて行く教育を行って欲しい。 (70 歳以上、仙台)
- 住んでいる地域の自然、文化、歴史について、幅広く分かる冊子等の提供や教育機関の開放、指導が必要。 (60～69 歳、登米)
- 学校の廊下などへの歴史資料を掲示していれば自然と頭に入っていくのではないのでしょうか。 (20～29 歳、仙台)
- 伊達家の歴史と文化。県内の仏像について。名木の紹介。 (60～69 歳、仙台市)
- 田舎や訛に誇りをもたせる教育がいい。 (40～49 歳、仙台)
- 区民の手作り演劇を通して地域の歴史を知る。参加しているいろいろなことを学びました。また、たくさんの人達との出会いがありました。 (60～69 歳、仙台市)
- 社会見学など、実際に歴史の残る場所に行つて学ぶ。楽しい、面白いと興味がわいて来るよう、先生も教科書をなぞるだけでなく、工夫した授業をしてほしいと思う。 (20～29 歳、仙南)
- 宮城の文化、歴史を織り交ぜた劇を作り、地元の劇団またはサークルなどでわかりやすくかつ楽しく演じる。 (40～49 歳、仙台)
- 各市町村で以外に知られていないが、歴史的な物があつたり近くに子ども達が体を動かすような所があると思いますが、もっと地域や学校でも外での学習にしたりと学校の学習に止まらず、どんどん出て行くといいと思う。 (30～39 歳、仙台)
- 宮城及び各地域の歴史、特に教科書で習つてこなかった風土史的なものを教えてはいいかがか。 (40～49 歳、栗原)
- 私は松山に住んでいるが、県、市外の方より、地元の名勝、旧跡、行事、特徴について聞かれた時に則、返答できない時があり、文化、歴史等について、生徒達に教えていただきたい。 (50～59 歳、大崎)
- その地域にある歴史的なものをもっと知るために、その場所に行く課外活動などをもっと取り入れて欲しい。 (30～39 歳、仙台)
- 博物館、美術館などの見学 (40～49 歳、仙台)
- 自分の地域にどのような文化・歴史的な建物・土地名を知らない人々が多いと思います。パンフレット等を作成して周知してほしい。 (50～59 歳、大崎)
- 神社、寺、城など現地、現場での歴史教育を行う、昔の生活、苦勞、昔の人が如何にして克服し、なし得たかを伝えることが大切。 (60～69 歳、仙台)
- 伊達政宗や七夕まつりなど子供たちが将来誇りを持って他県の人に説明できる様な話や経験をさせる。 (30～39 歳、仙台)
- 自然・文化・歴史とどれも大切な事柄で選ぶのは迷いますが、どれか一つといたら文化・・・が良いかなと思います。 (60～69 歳、石巻)
- 仙台地域は文化歴史の施設が多いが、郡部は少なく未だに関心度も低い。ただ地方(郡部)には伝統芸能的なものが多いが高齢化の為伝承もむずかしく、歴史と文化を(地域的)を学習させ地域への思いや愛情を厚くする (40～49 歳、石巻)

- 嘘偽りのない内容であればよいが、歴史を取れば戦争の内容等の真実が曲げられて伝えられている（沖縄）。今後若い人に伝えていくためには、偽りやごまかし、都合の悪いところ等を除くなど無いことを望む。 (50～59 歳、登米)
- 宮城に先住していた戦国（中世）時代の文化、特に葛西氏、大崎氏時代の掘り下げ研究。最近では勝者の伊達文化のみを重んじているので、負者の文化も大事に思うので研究してほしい。 (60～69 歳、大崎)
- 小・中・高一緒になって地域の特性、文化、歴史を学んでいき、上下関係や人とのコミュニケーションがとれ、地域の人達や教育者の人達との意見交換ができると思います。 (30～39 歳、大崎)
- 伝統芸能を学ぶ。地域間の交流もでき、伝統芸能を継承できる。 (30～39 歳、栗原)
- 伊達政宗の時代のこと（政治、歴史、文化など） (40～49 歳、大崎)
- 昔から伝えられている地域の流れや地名などを大切にしてほしいです。 (60～69 歳、栗原)
- 宮城の歴史など親子で学べる会など設けてくれたら参加したい。 (30～39 歳、仙台市)
- 昔のように歩いて遠足に行く。地元の名所をよく知る事になるのではないのでしょうか。体力づくりになる。 (40～49 歳、登米)
- 伝統文化を受け継ぎの教育。 (60～69 歳、仙南)
- 私は、石巻に住んでいますが、現在石巻には文化、歴史を見学する場所が少ないと思います。仙台中心になっていると思います。 (50～59 歳、石巻)
- 多賀城跡等の文化財を活かした活動。 (60～69 歳、仙台)
- 地域の歴史文化を守り後世に伝承する活動。 (50～59 歳、登米)
- 県内には沢山の史跡があります（自然文化歴史そのものです）バスツアーとは言いませんが史跡巡りなど良いと思います（料金などは2008年なので2008円とか）今の宮城県の企画にちょうど良いのではないのでしょうか。県内の名所は聞いたことがあっても場所に行ったことがない方が結構いらっしゃると思います。 (50～59 歳、大崎)
- 石巻市はサンファン号のことが年に何度も新聞紙上ににぎわせています。今は技術も進み船で世界をめぐることは何でもないこと。しかし昔は小さな帆船で航海するということが命がけではなかったかと思います。命を受けた支倉常長という人物は本当にすばらしい人だと思います。（大分昔に常長のことを習いましたが何年もかけて欧州に行ってきた位しか覚えていません。）あまりわからないのでこんなことしか書けませんが、県独自の歴史を深く掘り下げて小学生から高校生まで幅広く今の教育につなげてほしいと思いました。 (50～59 歳、石巻)
- 青葉城を中心とした優れた歴史文化遺産や高等教育の実績をアピールする方策。 (60～69 歳、仙台市)
- 地域の歴史についての講座の開講等。 (50～59 歳、登米)
- 伝統を大切に郷土芸能を子ども達に引き継ぐのも良いのですが、もっと様々な文化があることに興味を持ち、柔軟に自分にとりこめる、そして豊かな知性をもった子どもが育つといいなと思っています。田舎は田舎なりにというのは嫌です。 (70 歳以上、登米)
- 教育とは教えることだと思いますが、現在育てることが抜けているものではまず、一番に各人の環境が大事であり、各地域の文化、歴史等を子ども達と一緒に継承し地域全体で行事等を企画して子ども達との連帯感を持ち、感性豊かな子どもに育てる必要がある。 (60～69 歳、仙台市)
- 各市町村の歴史、文化、自然を発信するために、連携を取り保護者、教員、あらゆる関係団体と協力し活動してもらいたい。 (50～59 歳、仙台)
- 地域の特産品を使った食育の充実。伊達家の歴史を学ぶ講座。 (40～49 歳、仙台市)
- ゆとり教育の中、両親が働いている場合、地域の学童保育を増やして地域の人が自然、歴史等の勉強会を充実してほしい。 (50～59 歳、仙台)
- ふるさと学習会などを通じて子どもから大人までのその地域の自然、文化、歴史など、より多くの方々に楽しく勉強できる機会があれば他地域の人達に何らかの形で伝えることができると思う。 (50～59 歳、気仙沼・本吉)
- 校外学習の機会を増やし、自然・文化・歴史について専任の方々から学び、案内ボランティア的な活動を実施する。 (50～59 歳、仙台)
- 田植えや収穫体験（食育）、総合学習等での地域の歴史の研究、夏休みなどに自由研究にできるようなイベントや研修。例えば、歴史上の人物のゆかりの場所を訪ねる、その地域の昔のことをよく知っている人を訪ね、現在との違いを教わるなど。 (40～49 歳、大崎)
- 身近に自然がたくさんある場所に住んでいます。年に1回泉区の中学生が自然体験で民家に泊まり、田植えなどをしています。とても良いことだと思います。できれば年に何回かこのような体験をさせてあげたいと思います。泊まらなくても田んぼの経過

- を見せてあげるなど・・・。地元の歴史、県内の歴史にふれる機会が少ない様に思う。生まれ育った所のことぐらいいは知ってもらいたい。
- 石巻地方には本格的な博物館、美術館がないに等しいので、建設し充実させる必要を感じる。地域の自然、歴史等々の探訪などを教育に積極的に取り入れ、その良さを教えることが人間形成教育の一助になると考えます。 (60～69 歳、石巻)
 - 郷土料理、郷土芸能、郷土歴史等を地域のコミュニティセンター設置区ぐらいの割で全世帯複合型で学び合えるもの等が考えられます。 (40～49 歳、仙台市)
 - 伝統野菜を使った食文化について。宮城の風土、それぞれの特産品についての歴史的な背景について。 (30～39 歳、仙台市)
 - 恵まれた自然と豊かな郷土に根ざした伝統芸能はその地域の特色ある文化だと思います。そして、また、その地域の歴史でもあります。いつかは寂れて伝統ある芸能も幻の伝統芸能にならないように地域の小学生の頃から地元で伝承活動を推進して行くべきではないかと思う。(神楽や鹿踊り等の伝承会活動) (60～69 歳、登米)
 - 自然・・・(体験) 農業、登山、合宿
文化・・・伝統芸能
歴史・・・地域のお年寄りの話を聞く etc. (30～39 歳、大崎)
 - ほぼ小中学校では地域での特性を勉強視察していますので、あえてありません。ただ回数が少ないので、いつも、自然、文化、歴史、にふれられる催し物を地域で多く開催して親と子が向き合える場は必要だと思います。 (40～49 歳、石巻)
 - 宮城は米の生産が有名です。農業体験を生かして食の大切さ、食育、また自然のすごさを知ってほしい。また、宮城は歴史上でも有名な人物がありますが、歴史上の人物の生き方(苦難をどのように切り抜けていったか等)を学び、これから生きていくのにヒントにしてほしい。 (30～39 歳、仙南)
 - ①ふるさと検定が各会議所で実施されていますが、似たような内容を授業に取り入れるのも楽しいのでは!②自然・文化・歴史を守っている人たちを講師として迎え、話を聞くのも良いのでは! (60～69 歳、石巻)
 - 特に地域の優位性は感じない。ただ、県民として宮城の自然、文化、歴史を学ぶ時間をもっと必要。さらにこれらを含め、企業(工場)見学など課外学習の場を増やし、子供たちの興味や感性を高めてやるのが大切。 (50～59 歳、仙台市)
 - 自然、文化、歴史など、地域の特性を生かすのであれば、やはり特に子供たちに興味を持たれやすい歴史的な部分に着目したい。普段は縁があまり無いように思われる歴史だが、英雄伝などを聞けば必ずと子供の興味はひけると思う。様々な歴史的背景を持つ宮城であるので、歴史上の英雄や出来事に注目が集まる今、文化や歴史を子供たちに伝えていく手段として有用ではないだろうか。 (20～29 歳、仙南)
 - 自然、文化だったら小学生、歴史だったら中高生の時に実際にやってみたら良いと思います。自然に触れたり、自分の県の文化を知ったり・・・。具体的じゃなくすみません。 (20～29 歳、仙南)
 - 南三陸の地形と産業の発展、捕鯨の歴史、食文化、民芸品、多賀城址跡から学べることなどの地域性を生かした授業を増やしていく。 (30～39 歳、仙台市)
 - ①各世代別もしくは親子で参加できるツアーやイベントの開催。
②後世に残すべきもの(自然や建物等)については、社会見学や遠足等で子どもが小さいときから大切なものであることを教える。 (20～29 歳、仙台)
 - 「もみの木は残った」跡、自然、文化、歴史を通した教育、地域文化歴史として高等教育機関に取り入れてほしい。 (60～69 歳、仙南)
 - 自然、文化、歴史に関する施設はあるが、PR不足、その施設を運営する人材不足が多く見られる。ただ施設があるのみ。お金をかければいいものではない。 (60～69 歳、仙台市)
 - 地区の祭り、一年通しての農水産業のなりたちなどを経験させる。(小中学生だけでなく高校も) (40～49 歳、仙台)
 - 自然を大切にすることを育てるため、ゴミ拾いのボランティアを授業の一つとしてする。誰でも参加できるように、いつも同じ場所で(交通の便のよい所)、同じ時間に自然、文化、歴史の講演を小中学生から老人まで分かり易い、堅苦しくないラフなスタイルの教室を常設してほしい。 (50～59 歳、仙台市)
 - 宮城の自然であれば、海(奥松島・嵯峨溪)とか、文化・歴史であれば松島の素晴らしさとか。 (30～39 歳、石巻)

＜大学、専門家、公開講座などに関する意見＞

- 宮城県は大学が多数ありますので、小中学生ぐらいから大学の様子を見させる。又、大学生と交流させることによって勉強の楽しさや必要性が小さいときから理解できると思います。
自然環境が日本の中でも大変に恵まれた県だと思います。良すぎるため努力が無くなりますので厳しい環境を体験させることも必要と思います。冬の北海道、夏の沖縄など他県の方々が厳しい環境で生活している事を理解させることによって自分たちももっと努力する事が必要と自覚できると思います。 (50～59 歳、石巻)
- その道の専門家を学校に招き授業や講話など実施し、自然・文化などと直接ふれあい、生徒個々に感動を与えられるような工夫。 (70 歳以上、大崎)
- ①大学のオープンカレッジ（以前、東北学院のオープンカレッジに参加、受講し、大変勉強になり、現在までの福祉関係ボランティア活動をするためのきっかけになりました） (70 歳以上、登米)
②高齢者による戦争体験談を聞く会
③ふるさと教育など
- ①現地・現物主義の導入②実習時間を十分に取る一高等教育，企業の力を導入する。 (60～69 歳、仙台)
- 県内出身の著名人が多くの分野で大勢おり、これらの資源を利用した教育（実際、一緒に活動する） (50～59 歳、登米)
- 高等教育機関が仙台圏に集中しており、地域からの参加は時間がかかる。講義，ゼミ等を地域の学校（小・中・高）で行い，その期間，学生達も移動してもらい，一緒に生活し，地域の活性化を図ってはどうか。 (50～59 歳、登米)
- 地域の特性的見聞，参加を図ること。高等教育機関は，その学術的，歴史的な理論を持ち周知を図ること。 (60～69 歳、栗原)
- 東北大学等の教育機関との連携の充実化。 (30～39 歳、仙台市)
- もっと開かれた大学の講座があれば良いと思う。シンポジウム、公開講座などあってもアピール不足でいつ開かれていくか分からない事が多い。 (50～59 歳、仙台市)
- 旧田尻町で実施したように、県内各地にある公立高校を一定期間開放し（夏季冬休み）地域住民が自由に無料で受講できるシステムを 2 1（2 2）年度から早急に実施してほしい。若者の塔にせず、高校生だけのものにしないこと。 (50～59 歳、大崎)
- ①地域の人材採用 (40～49 歳、仙台)
②じっくり、粘り強い教育を
- 6 0 才過ぎてから再び大学に帰って勉強したい“夢”を持っています。それを簡単に実現できるような環境整備を行政の力でつくってほしい。 (30～39 歳、仙台市)
- あらゆる方面（様々な種類）の講演会などを開き人々に伝えていくこと。 (20～29 歳、石巻)
- 大学等の研究活動に市民が積極的に参加していただくことで，教育の楽しさを共有できれば，技術の向上や，全体レベルの底上げにつながると考えます。 (50～59 歳、石巻)
- 地元の人に精通した人の話を聞く時間を作り，体験をつませる。 (40～49 歳、仙南)
- レベルの高い方々が多く在るが，そのうちの多くの人は研究室にいたままで，全ての面で一般市民との間には温度差が大きい。科研費，論文数，院生の教育など苦勞の多いのは解るが，視点を変えてみるために市中に出ることがあった方がよいと思う。一般市民が何かを教えてもらうというよりは，何かを伝えたいという熱い思いを聞きたい。それが高等教育機関の努めだと思う。 (50～59 歳、大崎)
- せっかく東北大学があるんだからもっと入学させて（勉強させて）卒業後は県庁や市役所に就職して地方行政の活性化のために働いてもらったらいいのに。 (50～59 歳、仙台市)
- 小中学生が大学などの施設を借りて簡単な実習などができる。例えば宮城大学の牧場など。 (40～49 歳、仙台)
- 自然文化歴史：地域には，そのことに熟知した方が必ずいて，そのような方々を大きく広く紹介していくことが少ない。いろいろなチャンスもあるのに，それが知らしめられていない。（D・C など）D・C は意味不明。 (50～59 歳、気仙沼・本吉)
高等機関：東北大学の工学，医学などは世界的なのに，その内実が知らしめられていない。学校とか公開講座とかもっと確実に県民が分かり，良さを知る工夫をすべきだ。
- 各専門分野の先生方による公開討論会や人の集まる場所での広報活動など。 (60～69 歳、無回答)
- 優れた特性の児童生徒には，それに見合った高等教育機関で学ぶ機会を増やす。 (40～49 歳、仙台市)
- 宮城のことや、自分たちが住んでいる地域のことをよく知らない子供たちが多いの (20～29 歳、大崎)

- で、子供たちを対象とした宮城のことをもっと好きになれるような講座を開いて興味を広げるきっかけを与えてほしいです。(仙台市以外の地域に住んでいると、なかなか仙台にこれないので、他の地域でも多く開催してほしいです。)
- 講演会の開催をもっと積極的に行う。 (60～69 歳、石巻)
 - 地域住民と学生が自由に参画できる公開講座などで地域のあゆみや現状を知ることにより様々な問題提議がなされ、地域への思いや、こらからを考える場となってほしい。 (50～59 歳、登米)
 - 大学生と小学生が交流する機会を持つこと。大学の研究などの様子を見学する。また、スポーツと一緒に取り組む。小学生にとっては、大学生の姿を見ることによって、近い将来の自分の姿を想像するいい機会になると思うし、大学生にとっても小学生の疑問に答えるのは新鮮な刺激になると思う。 (20～29 歳、気仙沼・本吉)
 - 乳幼児や幼児がいる家庭で親子共に学べる出前講座があるといいと思います。例えば、幼児教育(早期教育)について等(注。学力アップなどを目的としているのではなく、あくまでも人間形成を目的としたもの) (30～39 歳、石巻)
 - 今まで考えたことがないのでわかりません。福祉大学やその他の大学の専門分野を生かした講座や教室への参加が容易にできるようになれば、と思います。 (50～59 歳、仙台)
 - 高等教育を徹底的に。自然に戻って教育してもらいたい。 (50～59 歳、仙南)
 - それぞれの大学の特色を生かした一般社会人にも分かりやすい講義(でんじろう博士のような) (50～59 歳、登米)
 - 地方に在住しており、大学の公開講座等の受講機会が仙台中心の様に思われ、機会が少ないのが残念に思う。 (60～69 歳、無回答)
 - 専門家による出前講座や公開講座を今まで以上に実施する。そのためには広くPRすることが必要と思います。 (30～39 歳、登米)
 - 各講師とともにバスツアーの様にガイドしてもらおう。 (30～39 歳、大崎)
 - 無料の教育講座。討論。 (40～49 歳、仙南)
 - 現在行われている高校開放講座や大学の講座の地方での開催などの充実を図ること。 (50～59 歳、栗原)
 - 体験を重視した教育。農業体験など大学教授の授業を小中高で行ってみる。教授は小中高教諭よりもはるかにユニークな授業をしてくれるからこれをきっかけに勉強の楽しさに気づけるのではないかと。 (20～29 歳、仙台)
 - 県内に住んでいながら大人をはじめ歴史や自然がわからない人がいっぱいいると思うので大学・高校生を通して、小中学生にもっとかかわりあっていけるよう、また、学習について行けない子には大学・高校生にボランティアで教えてもらったりして大学・高校生には小中学生にもっといっぱいかわりあっていけるように今の大学・高校生は遊び転がっている、十代を有意義に。 (50～59 歳、登米)
 - 我々が食卓で目にする野菜や魚について農業・水産業を大学の院生、学生などが小学生達とディスカッションの形で一緒に話し、食す。どうして野菜が育つのか、現在の問題は何か。なるべく同じ目線、違う視点で話すために学生が良いと思う。 (20～29 歳、仙台市)
 - 野外活動として、遠足先での青空教室。遺跡、史跡での講演会。河川の周辺環境を体験する。梅田川、七北田川、広瀬川での水生生物の学習を実際に川の中で遊びながら学ぶ、などの体験学習を地域ごとに企画し、講師として県立大学や国立大学の先生に来ていただく。毎月定期的に企画し、市民全員が一度は参加できる体制にする。 (40～49 歳、仙台)
 - ①近間に山・海があり、自然が豊富である。山と海の係わりを臨海学校、海浜学校等の行事を通し明らかにし、ひいては地球環境に配慮できる人間を造る。 (50～59 歳、大崎)
②高等教育機関の出前講演を中学校・高校で実施し、中高生に将来の夢を与え自分の進路を選択する上での参考とさせ、目標を持って学習させる。
 - 体験を重視した教育。農業体験など大学教授の授業を小中高で行ってみる。教授は小中高教諭よりもはるかにユニークな授業をしてくれるからこれをきっかけに勉強の楽しさに気づけるのではないかと。 (20～29 歳、仙台)
 - 県内に住んでいながら大人をはじめ歴史や自然がわからない人がいっぱいいると思うので大学・高校生を通して、小中学生にもっとかかわりあっていけるよう、また、学習について行けない子には大学・高校生にボランティアで教えてもらったりして大学・高校生には小中学生にもっといっぱいかわりあっていけるように今の大学・高校生は遊び転がっている、十代を有意義に。 (50～59 歳、登米)
 - 我々が食卓で目にする野菜や魚について農業・水産業を大学の院生、学生などが小学生達とディスカッションの形で一緒に話し、食す。どうして野菜が育つのか、現在の問題は何か。なるべく同じ目線、違う視点で話すために学生が良いと思う。 (20～29 歳、仙台市)

- 宮城の方言大学、方言を思い切り使って感情表現等。高齢者に安い聴講代で大学教育を！！ (60～69 歳、石巻)
各地の文化遺産を使って考古学講座。
- 文化財の歴史等の講座・研究などをとおして地域を知る事。 (60～69 歳、栗原)
- 地域に残されている昔からの文化伝統芸能を進んで受け継ぐ事が大切だと思います。例えば、お神楽などその地域の風土風俗により異なるものを次の世代に残す必要があると考えます。若い次世代の人たちに伝えないと、そのまま自然に消え去るのではないかと心配する。高校教育機関においても、こうした文化伝統を残せるような教育を取り入れることも必要と思います。 (60～69 歳、栗原)
- 地域の歴史に詳しい専門家による出前授業や地場産業を体験できるようにする。そのことを通じて、地域の事への理解が深まる。 (30～39 歳、仙南)
- 宮城県で生まれ育ったものでありませんが歴史で教わった伊達だけは何となくわかります。私のような人間にも気軽に受けられる、教えて頂ける講座などあるのでしょうか。また、仙台だけで行事を行われていますが、交通の便、時間のことなど出て行けないこともあります。 (60～69 歳、仙台)
- 地域の伝統文化や伝統芸能などに子ども達をもっと関心を持ち、地域に愛着を持つように学校と地域が連携して取り組むことが大切。総合的な学習の時間の授業等に地域の教育力を生かせるように、地域に在住する人の中で各分野で専門的な知識、技能を持っている人やゲストティーチャーとして活動をお願いできる方を学校に名簿登録してもらうなどの取組が考えられる。 (20～29 歳、石巻)
- 小・中・高～日本の文化（心のありかた）について各専門の方～のボランティアでできない子供たちを育ててほしいと切に思います。各家庭の状況により育まれてない心を「学校」という学びの場で学問だけでなく「あいさつ」おはよう、こんにちは、こんばんは、と自然に言えるように、そして「感謝の心」を持てる心豊かな子供たちを大人が育て上げなければという時代です。 (50～59 歳、仙台市)

<就業体験などに関する意見>

- 郡部においては、農業や漁業等、現在の地域産業や伝統芸能等、子供達に押しつけるような教育や活動を取り入れることが多く見られるが、将来の生活がどうあるべきか、もっと真剣に向き合わせるよう、指導、教育すべきだし、観光産業や第2次産業による安定経済での生活ができるすべを教えるべきである。 (60～69 歳、気仙沼・本吉)
- 将来的な知見からそういった自然や文化等を謳うのではなく将来的な進路を広い視野で見渡せるよう企業が率先して工場見学やインターンシップ等の場を提供する必要がある。最終的には育った地域で就職し仕事をすることが多いのであればなおさらそういった教育が必要ではないでしょうか？確かに人間形成の教育として自然や文化を学ぶのも大切ですが、今の時勢でそういった余裕は無く、企業の立場としてもその方が将来的にはプラスになるのではないのでしょうか。 (30～39 歳、仙南)
- 基礎物理、化学、数学を主体とした教育時間を多くする。ものづくりの東北。 (60～69 歳、気仙沼・本吉)
- 小学生6年生を対象に、親子で社会見学（工場見学、工事現場 e t c）ができるようなイベントを実施してほしい。できればクラス単位でバスに乗って。（参加料は少額で）（体験 e t c） (30～39 歳、大崎)
- いろいろな職場を体験し子供に作り出す喜び、仲間と協力すること物に対する慈しみなど感じる機会を持ち、将来に対する夢を持てる様な教育をしてほしい。 (50～59 歳、栗原)
- これからは、ものづくりというものは大切に思います。技術を持てるように、教育していけたら、これからの子供たちはしっかり勉強をし、楽しく教育の時間を過ごせるように思います。 (50～59 歳、石巻)
- 農林、水産業を生かした高等学校が減っています。もう少し、〇〇農林高校や△△水産高校を誇りを持って後継人物を育ててほしいです。だってほとんどの人々が県内のそういう企業にその後勤めているのですから。 (30～39 歳、仙台市)
- 自然保護のプログラム作成。県内生産の食材の加工、開発。 (50～59 歳、大崎)
- 子ども達（いろんな学年、学校が混ざり合った）が山でキャンプをしたり、山登りをしたり、高校生ぐらいだったらいろんなところで職業を体験したり、いろんなことに触れる、実際に体験して、自分で感じたり考えたりできると自立した人間になるのでは？そして地域のことも知ることができるのでは？ (30～39 歳、大崎)

- 各地域に存在する地場産業等の体験。 (30～39 歳、仙南)
- 農業高校はいつでも自由に入れて農作物の購入を出来るようにする。工業高校は溶接等の修理をしてもらえたりパソコン等の指導など地域との関わりが出来る環境を作れば生徒も社会との関わりが出来ると思います。普通高校は、いままで通り受験に向けて学習向上を目指して欲しい。 (40～49 歳、登米)
- 各地域の基幹産業の先達者の色々の経験を授業にとり入れ話を聞く時間があるといいと思います。高校生等に。 (50～59 歳、気仙沼・本吉)
- 高校に地元の歴史を勉強できるコースなどがあつたらいいと思います。また、高専があるので工業高校と高専と一緒に発表できるコンクールなどあつても良いと思います。 (40～49 歳、仙南)
- ①現地・現物主義の導入②実習時間を十分に取る③高等教育、企業の力を導入する。 (60～69 歳、仙台)

<その他の意見>

- 都市部と農、漁業地区との交流（子ども達の）を盛んにすることで、視野も広がり、社会性やコミュニケーション能力等にも良い影響があるのではないかと思います。宮城は「様々な地域」という意味では恵まれているので、それを更に有効に活用することができるのではないのでしょうか。 (50～59 歳、仙台市)
- 教育改革の重要性。基礎、基本、道徳を学業の中で徹底して教育すること。 (60～69 歳、大崎)
- 各種の年間を通しての講座開催。 (60～69 歳、栗原)
- 親のしつけが悪い？ (60～69 歳、気仙沼・本吉)
- 学校社会と時代は共通して生きて行くためには、大なり小なりのルールを持って行動すれば教育が生かされうまう行くと思います。 (70 歳以上、登米)
- 地方では、学生の減少で、専門学科（農業、土木等）の廃止が増えてきている。少人数でも教育できる機関が必要では。 (40～49 歳、大崎)
- 学校の課外授業や町内会のイベントで親子参加で見学に行く。 (50～59 歳、仙台市)
- 自由学園の創設（公立） (40～49 歳、仙台市)
- サラリーマンで転勤族だったので、子どもは転校したり大変だと思っています。40年近く故郷の宮城を離れていたため、宮城で行う教育に関しては、何も語れませんでしたので申し訳なく思います。 (60～69 歳、石巻)
- 県内留学制度 (60～69 歳、登米)
- 振り込め詐欺など、法律に詳しくないがために被害に遭っています。身近な法律（事故→経過→示談方法）、住宅（建築基準法→違法建築のトラブルなど）、人生で誰もが経験するであろうトラブルに対して基礎知識を教えておいていただくとトラブルのない人生が送れるのでは？ (40～49 歳、大崎)
- 9町が統合して文化、歴史等の地域の特色が薄れがちのような気がします。学校教育でも特色を生かした教育、特に統合後の社会教育施設では施設の貸し出しがほとんどで、生涯学習を唱えていても、どこでもやれるような趣味的なものばかり。もっと人づくり的な事業もやってほしい。 (60～69 歳、登米)
- 宮城を知るバスツアーを月1回開催。 (50～59 歳、仙台)
- 義務教育の中での見学や体験学習のチャンスをもっと増やすこと、また、低学年（小）からの見学などを行うことで成長過程でもそれに関わる実体験のチャンスがあれば参加させるなど見学だけに終わらない学習ができればと思う。 (40～49 歳、仙台)
- 旧豊里町にある郷土資料館は、利用客もなく施設が立派でもったいないと思っています。その場を図書館に変えるなど、利用価値がある施設に変更してほしいです。 (30～39 歳、登米)
- 出前教室等が都市部に偏りがちだと思います。 (50～59 歳、登米)
- 地域でどう言っても、人口が少なく、経済的に無理があるところでは行えないと思う。理想だけでは実現しないものではありませんか・・・。根本的に考え直すべきでは？ (20～29 歳、気仙沼・本吉)
- 各地域で開催されるものへの参加が難しい。一つは「足」の問題である。公共交通機関の利用や交通手段などの広報が不足しているように感じる。 (60～69 歳、仙南)
- 机上教育のみではダメなので、実際に体験をさせる内容のもの。 (40～49 歳、仙南)
- 地域環境にとらわれない教育。人としての基本的マナー。人としての心、思いやり、人間教育（日本人の心、しつけ、思いやり）の大切さ、大事地足がついている教育が第一です。地域教育の参加。 (50～59 歳、栗原)
- 高等教育の授業や部活動にそれぞれの地域の特色を取り入れ位置付ける。例：芸能文 (60～69 歳、気仙沼・本吉)

- 化のの伝承などは、学校毎の取組交流など・・・いかがでしょうか。
- 県内出身の有名人の公開講座など・・・ (40～49 歳、仙台)
 - 学校行事で最近思うのは、一般の業者にまかせる所が多くなっている (例えばもちつきの際は業者に依頼するとか) ので、子ども達が自分で、家庭、地域から情報を調べ、下手でもいいから自らの手で行事を行っていける教育。 (40～49 歳)
 - 地方においては、なかなか利用が難しいと思います。 (40～49 歳、登米)
 - 現行の地域の文化、教育イベントに目新しさは必要ないと思うが、PR 不足のような気がしてならない。後で新聞等でイベントが行われたと知るほうが多い。メディアをもっと活用すればイベント集客増え、感心持つ人も増えるのでは？ (30～39 歳、石巻)
 - 「県ならでは」の体験学習等を充実させる。 (30～39 歳、仙台市)
 - 質問が難しすぎます。教育委員会の人達に聞いてみたらいいと思います。立派な先生方が大勢いるので県はそんな人達から話を聞いてみたらいいと思います。 (60～69 歳、登米)
 - 日ごろ、常に目にしている風景が、他の地区 (他県) などで見るできない物などがあると思う。それらの認知、保存の積極的な取り組み。 (30～39 歳、栗原)
 - 宮城の文化や自然も大切だが、今の世の中何かがおかしい。今から成長するであろう子ども達にもっと人間社会の大切さを教えてから考えた方がいいと思う。 (50～59 歳、石巻)
 - 学校の枠をなくして、学生が同じ目的、趣味が同じならもっと知恵を出し合うことができる環境があれば、もっともっと新しい視野が広がり、向上していけると思うので、その様な場を作ってあげればよいと思う。 (30～39 歳、栗原)
 - 年齢が高くなってきますと、自分の育ってきた時代が古き良き時代というのでしょうか、今のアンケートを作成して特に考えられます。昔の親も先生も忙しい中、皆、子供のために一生懸命だったのだと思ひ出されます。物に囲まれている時代には難しいのでしょうか。 (60～69 歳、大崎)
 - 中高年の女性や定年退職者と PTA の連絡等を密にして子供をリードする。 (40～49 歳、石巻)
 - 仙台市一極集中の傾向にあるので、その他の地域でも参加しやすい環境も作ってほしい。 (50～59 歳、石巻)
 - こんな質問をしているおまえらにはなにもわからんな！自分の体験を生かせ、今までなにを学んだんだ、もっと自分が学んだ事を仕事に生かそうとしないのか？だから頭でっかちの政策しかできないんだ！もっと自分をいかせ意見を言え、国がダメなら県でやれ市でやれ・・・もっと宮城をなんとかする気持ちが大事なはずだ。 (30～39 歳、仙南)
 - 先を見る事、知る事、聞く事と体験学習を生かした交流を重ねることによって地域の良い物が見えて来、本物を求めていく姿が養われるのではないかと思います。 (50～59 歳、気仙沼・本吉)
 - もう少し (旧河南) に公園等あそび場がほしいです。あそび場が無いからです。 (50～59 歳、石巻)
 - ゴミ拾い等の社会奉仕等で自分の住んでいる地域を大切に思う様にする。 (40～49 歳、石巻)
 - PTA、地域の協力者を活用した方が良い。 (40～49 歳、栗原)
 - 伝統的なものに参加させる。 (40～49 歳、気仙沼・本吉)
 - 前浅野知事が道路に黄色の障害者用の道を作りました。それを車イスで健常者が試してみてもいいのでは・・・あまり見た事がありません。 (60～69 歳、仙台市)
 - ①「宮城の豆知識」と称して CM 等で豆知識を紹介
②各地域での特色ある事物を簡単にまとめたものを会報として発刊し、そのコピーを宮城全域に回覧板や教育機関に常備などして読んでもらう。 (30～39 歳、仙南)
 - ボランティア (50～59 歳、仙南)
 - 人は壁にあたったとき自分のルーツを考えます。国際的なルーツもいいですが個々人のルーツの啓発の機会など与えるのはどうでしょうか？ (30～39 歳、仙南)
 - 小中学校とも先生方がその地域のことを知るべきだと思う。机上だけの教育のように思える。 (60～69 歳、石巻)
 - 海外の人たちにも PR できるように外国語も話せるように指導する。 (50～59 歳、石巻)
 - いろいろな機会を設けて、皆が気軽に参加できる機会をつくる。 (50～59 歳、仙南)
 - 地域で何かやってもすぐ尻切れトンボ状態のような気がします。箱物用意しても中身がなければ役に立たないと思います。 (50～59 歳、石巻)
 - 地元の教育機関に何か一つでも良いから地元の良いところを子供達に伝授していく時間を作って継続させていくことが大切と思う。 (50～59 歳、石巻)
 - 体験学習。 (40～49 歳、気仙沼・本吉)
 - 地域の事もわからない人間が多いのに、知ったかぶりで宮城、東北、日本は話せないと思います。 (40～49 歳、仙台)
 - ボランティア活動を夏・冬・春休み時に行うよう指導及び単位制の確立を。 (50～59 歳、仙南)

- 子どもは子どもらしく、思いやりのある子どもが育つ環境にしてほしいと思います。(50～59 歳、仙南)
- 財政問題もあって環境（自然）に関わるので特になし。(60～69 歳、仙台)
- その地域でいるんな芸能など特色はありますので子ども達は、地区の文化に合ったことを習っていったほうが良いと思います。(60～69 歳、登米)
- 宮城県の代表的な事を誰でもが小さい頃から話せるように根づかせてほしい。宮城県に愛情を持てるように、自慢できるように。(40～49 歳、大崎)
- 今は外国の方と結婚した方が大変増えているので、外国語が少しでも子どもと大人、これからの大人におぼえられたら良いと思います。(40～49 歳、栗原)
- 現在どのような内容が行われているかを把握していないので、具体的には思いつきません。(50～59 歳、仙南)
- 本物の姿がいかされた場所がセットされて、それをタイムスリップできるホールリングがあれば面白い。(50～59 歳、仙台)
- 先生と生徒の隔たりなく言いたい風土の社会があっても見て見ぬふりする先生方の態度が今の子どもの気持ちをいいかげんにしている。(無回答))
- 義務教育で落ちこぼれを作るような、今のクラス編成は変化させ、何年何組でなく、受けられるオープンな教育、そして、高等学校、大学に進めたらと思う。いま、高校・大学も多様に選択の場ができて思う。(60～69 歳、大崎)
- ボランティア活動などを増やした方がよいと思う。(20～29 歳、登米)
- 地域産業の体験の場をより多く持つ事。体験の中からいろいろな事を学び取る教育であってほしい。(60～69 歳、気仙沼・本吉)
- 高齢者のボランティア対策。お世話役、老人老健ホーム増設(60～69 歳、大崎)
- 私は気仙沼に住んでいますが、気仙沼市は仙台市のように教育機関が充実しているとは思えません。しかし仙台市のように充実した環境を望むこともありません。教育とは単に子供の問題ではないのです。価値観の問題なのです。情報量が人間を豊かにするときもあればそうでない事もあります。(50～59 歳、気仙沼・本吉)
- 以前転勤で広島に住んでいた時の経験から、こちらに帰ってきてみて何かがっかりしたものを感じた。あちらでは、三世帯交流で子・親・地域のお年寄りが関係が深く、授業への関わり、地域の安全の意識が強かった。登下校もその関わりの深さがベースとなって地域で子どもを育む空気が強かったが、こちらではあいさつしても返さないお年寄りが多いのは子どもも不安だと思う。大人の意識が子どもに良い影響を与えると思う。(40～49 歳、仙南)
- 高等教育という前に、自分たちの住んでいる地域を愛せる「人間」に育てることが大事だと思う。(50～59 歳、仙南)
- やはり教育は家庭生活（子と親）の関係の充実だと思いますので、親の教育を考えて、少人数での相談会などを行うべきと思います。(60～69 歳、石巻)
- 悩んで考えるならやらないほうがいい。(30～39 歳、気仙沼・本吉)
- あまり、行政に頼らず、住みよい、仲間がいる「おらが町」があると良い。地域づくりが大切。教育は、競争ではないと思う。人格の完成であると思う。東北の人は優しいと野村監督も言っている。東北、宮城はそんな良い面がある。(50～59 歳、大崎)
- TV・DVD での教育(40～49 歳、仙台)
- 全員が同じ能力を有していることはないので、将来の職業を考えるような土壌を作るような教育。(60～69 歳、気仙沼・本吉)
- 教育に特色は必要なし。(50～59 歳、仙南)
- 地域の特性は薄れつつあります。新興住宅地である当住宅団地では、県外からの移住者が多く子供たちは皆「標準語」を話しますが、先生方が「東北弁」を話します。東京へ日帰りできる時代ですから、やはり高等教育機関は東京に任せるべきでしょう。地方は中央に優秀な人材を送ることになる。(60～69 歳、仙台市)
- 体で学ぶ時間を作ること。(20～29 歳、栗原)
- 町内会の役員（会長、民生委員、小中学の父兄）や教師とのふれあいを持ち、情報交換をし、子供を見守り、教師への要望も気軽に相談しながら、小中学生の育成に小さな協力を心がけています。(60～69 歳、石巻)
- 学校が中心となって行うことが最も地域に影響を与えてくれると思う。地域の方を講師に招くなどの時間を確保できれば良いと思うが、今の学校にはそのゆとりがない。設置、学力も大切だが時間のゆとりを生み出し、子供一人一人の姿が見える学校にするには教師の数を増やし事務的な仕事を増やさないと。管理職と呼ばれる人は「管理」に走り（そうせざるを得ない状況であるが）教師の指導者になっていない(50～59 歳、登米)

- のが現状である。教育に対する教えや人間性に問題がある人が教師になっている。もちろんすばらしい人も多い。
- そのような地域の特性に触れるため、体験学習を多く取り入れる必要あり。心豊かに育てるには室内にはできない。 (50～59 歳、仙南)
 - 私達地域は(富谷)町全体が各種サークル等その地域に合った特色をもった事業展開しております。それによって人と人のいろんな話し合いも出て、子供たちの教育事や家庭全般・仕事など数多くの話をしており老人から子供たちまで進んで参加しております。 (60～69 歳、仙台)
 - 学生時代は相撲をしていたので現在子供たちに相撲を教えています。 (60～69 歳、気仙沼・本吉)
 - 愛国心や郷土愛を子供に押しつける前に、まず地方を発展させる事である。 (40～49 歳、仙台市)
 - 交通の便も無い山奥に住んでいるので子供たちを学校に送迎するのが大変です。もっと子供たちにオープンキャンパスなど世の中を知ってほしいと思います。 (40～49 歳、仙南)
 - DCなどで宮城を盛り上げているのですから、もっと子供たちの手を借りる・・・というか、子供たちに出来ることを子供たちに考えさせて学校やPTAがそれを支えて自分の町の良いところ改善した方が良いところなど経験させるとか。 (40～49 歳、気仙沼・本吉)
 - 子供がまだ小さいので具体的な活動等は考えたことはありませんでしたが、このアンケートで教育に対する意識をもっと持たなければいけないと感じました。親として何をすべきか(子供と一緒に)見つけて支えていきたいです。 (20～29 歳、登米)
 - 子ども達の大好きなスポーツや音楽(バンド等)を町の中でできるようになると世代を超えて皆の目や心で共に教育できていけるのではと願っている。 (50～59 歳、登米)
 - 子ども達に自由な環境を与えることが良い。 (60～69 歳、仙台市)
 - 宮城県には素晴らしい人材がいますので自由な教育をもっとしたほうがよい。 (40～49 歳、仙台)
 - その地域に住む人達の協力と新しいイベントを先頭に立って考えてくれる人がいること。宮城DCのように県民が一丸となってできるイベントはいいですね。 (30～39 歳、大崎)
 - 学校に通う子ども達のみならず、大人たちもそれにまじって教育を受ける機会を増やすべき。中央の指導に従うのみではなく、地域の自律性を大切にする教育行政になっていかないと本当の意味での特色ある教育は出来ないと思う。 (40～49 歳、大崎)
 - スポーツ、レクリエーション、体を動かす活動(外で遊んでいる子どもがいない) (60～69 歳、栗原)
 - それぞれの地域で考えており、昔よりそのような場、機関が多くなっていると思うが、利用する者が積極的な人に限られている。 (50～59 歳、石巻)
 - 今年、孫が生まれました。二人の女孫がこれから色々な人達の助けを借りていい環境のもとで成長してくれることを望んでいます。2ヶ月しかたっていない孫に「おはよう」「おやすみ」から始めています。 (50～59 歳、仙台)
 - 体験学習ができる機会をより増やすことや、公開講座や出前教室などをよりアピールする。 (20～29 歳、石巻)
 - 各校においては、地域の素材や人材を活用しながら特色ある教育活動を実施しているようであるが、指導計画は学校側で立案しても実際の授業にあたっては、ややもすると地域の人材に任せっぱなしで教師は傍観であったりするので、教師自ら地域に溶け込んで理解し身につけた地域素材を指導すべきである。 (60～69 歳)
 - 現在の社会では、中央一極集中型で地方密着型の魅力ある教育制度の確立と地元に残って生涯社会に貢献できる様な職場を育成すること。そのため、外部より企業を持ってくるより、地元育成、補助して育てることと、国立、県立のみならず私学をもっと充実させ、若者定着の活性化にすべきである。 (60～69 歳、仙台市)
 - ①宮城の食の安全に対する教育 ②防災の知識を高める教育 ③福祉に関する教育 (50～59 歳、仙台)

設問(37) その他、教育に関してご意見等がありましたら記入願います。(自由記述)

＜学校教育・行政の役割に関する意見＞

- 先生・生徒の区別。先生の教育を徹底的にお願いします。 (年齢, 地区)
(50～59 歳、仙南)
- 子ども達に校外学習として親の職場体験等を取り入れ、働くことの大切さ、尊さを体験させる。 (無回答、栗原)
- 学力の向上＝東京などの有名大学への進学率アップとするなら、金銭的な補助も必須と思われる。地域での人材を育てることが県の教育目標？宮城の教育は「県内で満足」という空気があるので低位のままなのは。 (30～39 歳、栗原)
- 小学校の統廃合により学区が大きく変わることによって地区コミュニティーが分割され、今までのコミ活動ができなくなるのが心配である。 (60～69 歳、栗原)
- 学校に不良がいて、教室に乗り込んできたり、いろいろなことが起きています。一部の先生は叱ったり、きちんと対応しているようですが、大半の先生は最後まで話し合いもせず、いつも穏便にことを済ませようとしています。生徒も先生を頼りたいけど言っても何もしてくれないという現状です。授業ももっと楽しく興味の持てる教え方ができる先生が必要だと思います。学校の授業だけではついていけず、学力低下はあたりまえです。学校自体が学習に対しレベルが低い、その学校に通わせる以外ありませんでした。なんとかしてほしいです。 (40～49 歳、登米)
- (高校教育について) 小中学校は、子どもに分かる授業のために努力していますが、高校は、ただディスカッションさせたり教師が一人で話し続けるという授業が行われているようです。子どもに分かる授業を工夫してほしい。また、自主性というだけでなく、子どもに寄り添って進路や部活動指導をしてほしい。 (40～49 歳、栗原)
- 学校などで現在このような授業(内容)が行っているなど学校→家庭でのやりとりも必要なのでは？ (30～39 歳、石巻)
- 学習教室を増やす。予備校を活用する。 (60～69 歳、気仙沼・本吉)
- 教育費(塾など)の負担が増加しないよう配慮してほしい。 (40～49 歳、登米)
- 食育にもっと力を入れた方がいいと思います。体にきちんとした栄養が入れば、心も体も育つのではないのでしょうか。学校で、親に講演会を開いて自覚させる。 (50～59 歳、仙台市)
- 文科省の教育方針そのままでなく、県独自の宮城県に合った方針で市町村教育委員会を指導してほしい。教員採用は公平に、大分県並ではないにしても、コネや手心を加えた採用は絶対やめるべき。(悪しき慣習はなくせ。) (60～69 歳、石巻)
- 子どもに接する教員に心のゆとりがなかったら良い教育ができとは思えません。事務作業に追われ、ゆとりがないように見受けられます。クラブ活動に追われ、土日もないと聞くこともあります。せめて月のうち2回は確実に休みを取り、体も心もリフレッシュして子ども達にゆとりのある態度で接してほしいものです。 (50～59 歳、気仙沼・本吉)
- 先生というものは、時には優しく、時には厳しいということを最初から子ども達に分からせておくことも大切だと思います。 (20～29 歳、仙台)
- 小、中、高等学校地域化。他の学校への転校、進学は自由とする。ただし、退学、登校拒否は不可。その他の理由で登校できる者は、特別施設で過ごすこと。 (40～49 歳、仙台市)
- 教員採用の件ですが、私達の住む宮城県ではあのような不正はなかったのでしょうか。数年後に事件として大分県のような出来事、事件がおきないように信じたいものです。私自身は大分県の事件は氷山の一角なのではないかと思っています。噂では県会議員の先生の口利きで教員採用になった話を聞いたことがあります。この宮城県でもやはりあるのですか？ (無回答、登米)
- がんばれ教師諸君！！もっと自分自身、自信を持ってください。 (60～69 歳、登米)
- 全員が大学に進学するわけでもなく、卒業しても就職できない場合もあります。ドイツほどではなくても早くから専門性を掘り下げた教育をしていってもよいのでは？宮城県は虫歯の罹患率も高いので、フッ素うがいなどを取り入れてはどうでしょうか。 (40～49 歳、大崎)
- 学校教育の担う役割が非常に大きくなっており、週5日と、以前よりゆとりのない制限された時間の中では、難しいと思うことが多々ある。かつての土曜日の午後は、ゆとりの活動が設定できるとても有効な時間だった。 (50～59 歳、大崎)

- 上を見れば教師の優しい目、厳しい目があった昔と違い、現在、教師の視線は子どもと同じになっている。確かに子どもの心は掴んでいるが、それは将来への道案内人としてではなく一緒に走る同志として。恐いものなし。個性を重んじるあまり協調性が欠けている。モラルを大切に作る大人たちの中で子ども達は成長することが望ましいのではないと思う。子どもの笑顔を大切にしながら、新米の親や教師が育っていける社会であってほしいものだ。教師を始め、他職種の研修会は、あらゆる形で開催されているが、「親」を育てるための研修会に相当する者は、妊婦を対象にした「母親学級」しか思い当たらない。幼児期、学童期、思春期など子どもの成長に伴った親のあり方、研修会のようなものがあるのもいいのではないかと。
- 教育を充実させるためには人材の投与は必須である。講師を増やすだけでなく、正式の教師の増加を希望する。(50～59 歳、仙台)
- 尊敬できる大人が周りにいると、子ども達も自然と向上心を持つのでは？そして、親身になってくれる先生がいればいいのでは？先生の目が届くよう、先生一人に対して子どもの数が少ない方がいいのでは？(40～49 歳、大崎)
- 週休二日制になってから、学校内の行事が極端に少なくなり、子ども達同士が協力しあって何かを成し遂げる、又は、学年を越えた触れ合い等がなくなってしまったようです。以前のように月2回(第2、4土休)に戻してもらっても構わないので、子ども達ももっとのびのび、学校生活が送れるようにしてもらいたい。(30～39 歳、大崎)
- 小中学校の週休二日制をやめて学校教育時間を増やすべきだと思います。家庭での学習負担を軽くすべきだと考えます。ゆとり教育の必要性が分かりません。学校という大勢の子どもがいる中で、子ども同士の遊びの中で学んでいくことの方が、よりよい教育の場での学習になるのではないのでしょうか。私達40代、30代の小中学時代は、学校の放課後や部活でより多くのことを学んだ記憶があります。週休二日制は今すぐにでもやめるべきだと思います。(40～49 歳、仙南)
- 教員の能力の不十分さを感じることがあります。正職員であっても能力や人間性に問題のある方もいれば、講師でありながら能力に優れた方もいます。教員採用の基準を見直してみてもいいかでしょうか？また、資格の更新制度があると良いと思います。(40～49 歳、仙台)
- 教師の質の向上を願うばかりです。(40～49 歳、仙台)
- 今の中学校の先生方は、自分たちのことばかりで、全然生徒たちのことを考えてくれないと思います。文科省からのこともあり、先生方も大変でしょうが、学校行事も生徒意見などは一切聞いてもらえず、先生方の考え方だけで毎年行っているそうです。先生に与えられた事以外できない子ども達が不満をもらっています。そんなところから先生に対する不信感が生まれて行く現代で、子ども達に対して良い環境を整えてほしいと思います。(40～49 歳、仙台)
- 公立校の学力低下がありますが、もっと厳しく教えてほしい。達成していなければ残すことも良いと思います。先生たちも自信を持って子どもにあたってください。(40～49 歳、仙台)
- 教育費の負担を少なくしてほしい。(50～59 歳、仙南)
- 学校の教師に関しては、適性検査のようなことが必要だと思います。(無回答、仙南)
- 学校と家庭間の信頼関係が弱くなってきているように思う。モンスターペアレントなど、少しの事でも苦情を言ってくる保護者もいるので教育関係者の方々も大変だと思いますが、金八先生のような熱い情熱を持って生徒たちにぶつかってほしいです。(30～39 歳、仙南)
- 今の先生にゆとりがないと思います。教員を増やして負担を減らせば先生が生徒の指導に力が入れると思います。(50～59 歳、仙台)
- 全国学力テストの結果公表のニュースが出ているが、県毎、市町村毎などの限られた範囲での結果の数値には妥当性を欠くものであると考えている。公表等で学力がつくなどとは全く考えられまい。テストの目的すらが疑われる。教育環境の整備とかに知恵をさぼるべきだと考える。(60～69 歳、仙南)
- 担任を2人にする。(偏った指導防止)(30～39 歳、仙台市)
- 学力テストの結果が他県より低いと言われているが、県内においても仙台市と他市町村では差があるのではないと思う。もっと勉強したい、希望の大学に入りたいと思えば、仙台市内の学校に入らなければならない現実があると思う。郡部でも希望が持てる教育、学校作りをしてほしい。子どもが郡部にいるからダメだとあきらめることのない学校を望みます。(40～49 歳、登米)
- 教員の職務協力及び個人的な人間不信の除外。教員のモチベーションの低下がどうか(30～39 歳、栗原)

えます。モンスターペアレントなどの保護者対応のできるプロが必要と思います。

- 宮城県でも情報公開が進展している様ですが、教員採用や昇級試験の結果も県民に分かり易く公表するべきだ。(60～69 歳、無回答)
- 私の子ども達が小学校の頃に「ゆとり教育」とやらで授業時間が削減されました。そのあおりを一番受けた年代のように思います。漢字の書き順もめちゃくちゃですし、基本をきちんと教えてもらえなかったように思います。太陽系を習わなかったとかで、高校になっても地球の周りを太陽が回っていると思っていた子どももいました。それで学力低下するのも無理ないと思います。みんな塾に通えるわけではないのです。(40～49 歳、仙台)
- 教育に関する考え方は様々ですが、教え育てる教育と共に育つ共育を並行して考えるべきであり、上から降ろすべきではないと考えています。(しかし基本的な育ち(道徳面とか)は誰でも持ち合わせるべきと考えた上でのことです。)一人ひとりの価値観の違う大人が子ども達にどんな教育ができるのか人として先輩として自己の質の問題もあろうかと思う。特に地域での委員には学校教育者が多くつまらない。もっと幅の広い視野で人選をすべきである。何をすることも同じ顔と肩書きが気になる。社会共育、学校教育、家庭教育、ふるさと共育など様々な面で関連し合い、連携し合いながらの人づくり、共育を考えるべき。知識だけの詰め込みが教育に歪みを生んでいないか心配です。(60～69 歳、気仙沼・本吉)
- 教育費にかかる費用がかかりすぎます。子どもを多く欲しい人達はたくさんいますが、現実には難しいです。なぜか、今の世の中、子どもにたくさんの知識を与えたいのですが、何でもお金です。補助などあれば・・・。(40～49 歳、仙台)
- 学校の成績が全てみたいな考え方と風潮はなくすべきだと思います。世の中にはいろいろな職業と役割があり、一人ひとりの性格と得意分野で活躍して成り立っていくものだとすることを子どもの頃からしっかり先生方も教えてほしい。そしていいこと悪いことを分かり守れる強い性格”ボロを着ても心は錦”の精神を育ててほしい。自分さえ良ければいいじゃない人間を育てる教育、土台作りをしっかりとからの教育と思います。(50～59 歳、仙台)
- 先生や子ども達のコミュニケーションから学習に対してひきつけるという様な事が少なく以外に担任が休み別な先生が来たら、すごく面白いといきいきと話す子に差が激しくあるのに親は複雑です。毎日大変だと思いますが、もっともっと子どもが面白いから先生にくぎづけになる授業で話やざわつきがなくなるそういう事が希望の一つです。(30～39 歳、仙台)
- 現在の社会では、中央一極集中型で地方密着型の魅力ある教育制度の確立と地元に残って生涯社会に貢献できる様な職場を育成すること。そのため、外部より企業を持ってくるより、地元育成、補助して育てることと、国立、県立のみならず私学をもっと充実させ、若者定着の活性化にすべきである。(60～69 歳、仙台市)
- 教員をフルに活用した少人数、2T制などの増進。(50～59 歳、栗原)
- 学校の先生方が校務におわれ、子ども達と十分にコミュニケーションを取る時間がないようです。また、発達障害やコミュニケーション能力の低い子どもがクラスに数人いてクラスが落ち着かない様子です。30人学級を実現し、担任の先生がもっと子どもたちに目が届くようにしてほしいです。(40～49 歳、仙台市)
- 教育の場を与えるのが国や県であり、それに参加するのが各家庭や地域だと思う。何もかも国や県で勝手に決め失敗してから国民に意見を聴いても遅いと思う。もう少しあなた達が意識を高めるべきではないでしょうか？(30～39 歳、仙南)
- 近年の子ども達は自分の意見や行動を素直に出せず、周りの顔色を気にしすぎていると思うので、ある程度、全員を強制的に行動させ、それに対して不満を言わせない環境作りが必要かと思う。子どもの自主性の尊重は一部の子どもにしか通用しないと思う。逆に消極的な子どもが増えていると思う。(40～49 歳、無回答)
- 週休2日制を導入した時から、何かかえってゆとりがなくなってきたように思います。土日にも何もすることがない子どもは、朝、お昼近くまで寝ていたり、テレビや音楽、パソコンに向かいっぱなしでかえって不健康的だと思います。先生方の休日等の関係もあるでしょうが、月～金まで遅くまでつめこみの勉強をして、本当に頭に入っているのかと疑問に思います。他に携帯電話も中学までは禁止してほしいと思います。家庭の事情もあると思いますが、持っけていても犯罪に巻き込まれるときは巻き込まれるのではないのでしょうか。(40～49 歳、登米)
- 教育者の方々の教養のなさが目立ちます(一般常識)。中学生教育に携わる方！(40～49 歳、栗原)

- 教員の人材育成、必要であれば一般企業からの指導も必要。放課後についての社会資源が不足していると感じます。 (30~39 歳、大崎)
- 県の教育行政の施策がもっと県民に見やすい、分かり易いように努めてください。 (50~59 歳、栗原)
- 子どもの立場になり、物事を考えることのできる責任感のある教師の採用（試験だけでは分からないため）。一般企業よりの教師の採用（採用年齢の上限を無くす。）どこかのように・・・不正で教師になった人いませんよね？ (30~39 歳、仙台市)
- 現在の教師は威厳がない。厳しく、思いやることを先ず身に付けてほしい。生徒への体罰はある程度必要で、怪我をしない程度で与えても良い。悪いことは悪いと言えるようになってほしい。また、県、市町村の教育委員会は必要性に疑問を感じている。きちんと仕事をしているなら現状の環境にならなかつたはずだ。余分な税金を使う必要ないので解散したらどうか？ (30~39 歳、仙台)
- 小、中学校の授業に地域に住む人の授業を取り入れ、伝統文化を残す取組がもっと必要ではないか。また、気軽に子どもに声をかけにくい。社会背景（事件等による）にも問題（知らない人には近寄らない）があると思う。解決するには子ども達が大人の顔と名前を覚えることが大事と思う。 (50~59 歳、登米)
- 人に聞いた話ですが、友達は子どもが発達障害で学校に通うための相談が大変だったと聞いています。普通学級には入れたそうですが、もっと相談を出来る環境を作って欲しいです。市民一人一人のための環境作りをしてほしい。親の意見を参考にしてほしい。 (30~39 歳、仙台)
- 給食について、給食費は多少上がっても良いのできちんとした食材を使って欲しい。 (30~39 歳、仙南)
- 現在、小中学校が土曜日を休みにしているが「ゆとり教育」が学力低下になっていると言われ始めているのに、まだ週休2日にする必要があるのか。このまま週休2日にするのなら、長い夏休みを短縮するなど方法はあると思います。休み=ゆとりではない。子ども達はその分塾などで勉強している。本当なら学校で勉強をして友達とも関わり合い学んだほうが良いのでは！昭和時代の教育体制に戻すのも一つの方法だと思います。 (30~39 歳、石巻)
- 教員の質を高めるための教育。親の教育。 (無回答、無回答)
- 今も昔も、教育の基本は「知・徳・体」教育と「読み書き、計算」である。小中教育の期間が最も大切と思われまます。 (60~69 歳、栗原)
- 私は仕事をしているので、子どもが寝てからの帰宅です。もっと子どもと話したい、今日あったことを今日聞きたい。休みが違うので、インターネット、ホームページを通じて学校の様子などを流したり、もっと学校で何をやっていたかなどを知りたいので学校はインターネット環境をもっと使うべきだと思う。 (30~39 歳、栗原)
- 大学などでの講座、講演などが行われていたことも知りませんでした。県民にもっと周知を徹底することが必要だとは思いますが、講演会などが本当に必要なのかも疑問です。人が足りないなどの理由から仕方なく聴きに行くこともあります。そんな講演会が必要でしょうか？本当に必要なところにお金をかけてください。 (30~39 歳、仙南)
- 子ども達が安心して落ち着いていられる環境、そして教師に信頼を寄せられる学校経営を望みます。 (60~69 歳、仙台市)
- 心身、共に病んでいる教師が多く、びっくりしています。教師がもう少しゆとりが持てるような環境が必要だと思います。それと子どもの減少で学校を合併しようとしている動きが各地で多く見られますが、自分が小さい頃に学んだ学校がなくなることくらい寂しいことはありません。児童数が多ければ良い教育を受けられるという根拠もないはずで。事務的な処理ばかり考えずもっと家庭、子ども、地域を考えるべきです。 (30~39 歳、石巻)
- 大学受験のための教育をやめる。卒業後、社会に出てから役に立つ内容を学校で教える。実際に使える会話にできる英語力を中学・高校で教え身につけさせる。 (40~49 歳、仙台)
- ①小学校での躰をもっともっと教育してほしいです。「親しき仲にも礼儀あり」と言うように家庭内でもおはようといえる家庭造りをしてほしい。 (50~59 歳、大崎)
- ②ルール、マナーの教育をもっとしてほしい。 (50~59 歳、石巻)
- 小さい子供たちがいるからです。もう少し石巻（旧河南）にスクールバスを動かすようにしてほしい。 (50~59 歳、石巻)
- 宮城は全国に比べ学力が低下しているとの事で、大学受験も厳しくなっています。小学校から教育の見直しをし全国でも上位になる様な基礎学力をつけてほしいです。大学受験が不利になっている。 (40~49 歳、石巻)
- 日本の英語教育について、大学を出ても大部分の人が英会話の出来ぬ現状ですが会話 (60~69 歳、仙台市)

- からスタートする事により改善できると思います。
- ①もっとオープンな教育であって欲しい。
②大阪で問題になっているように学力調査などの結果も各市町村別の発表をしたり、いろいろな事を隠さずに発表して欲しい、結果だけでなく、その過程も。 (50～59 歳、仙台)
 - ③2学期、3学期制もどちらかに統一して欲しい。
 - 5教科中心の学習から生活中心、生きていく上での教育の充実が必要と感じています。文科省のコロナ変わるカリキュラムのあり方など、高校で家庭科を男女共修にしたと思ったら時間数が減っていったり、もっとしっかりした人間教育に目をむけてほしいものです。 (60～69 歳、仙台市)
 - 女子高生のスカートが短さ!! なんとかならないのか? どうして学校で許可しているのかわかりません。生活指導部とかないのでしょうか? 教養のなさでスカートの丈が比例しているように見える。(バカな子供程スカートの丈が短い) 犯罪を誘発しているように見える。親は毎日服装を見ているのでしょうか? (50～59 歳、石巻)
 - 部活動などでの「イジメ」をなくしてほしい。生徒に目をむけてほしい。 (40～49 歳、気仙沼・本吉)
 - 学校で茶道・華道の時間を充実させ、子供たちに様々な和の良さを実感させる。 (40～49 歳、登米)
 - 中・高一緒の方が絶対良いと思います。大学は入りたい処に入り、卒業を難しくすれば入っただけでなく入ってから勉強するのでは・・・ (60～69 歳、仙台市)
 - 学校は学問を指導する場所ですが、もっと子供たちを自然にふれさせて心豊かにして高校も国が養うべきです。専門学校、大学は自由に個人の意見で行かせて押しつけないであげてほしい。一度きりの人生です、アニマルペット達も人間の勝手に一週間で処分されている、なんとおろかな大人達。(子供たちの方がやさしさをもっています) (50～59 歳、仙台市)
 - 家庭も大切ですが学校などでも道徳的なことをもっと教える必要があると想います。人間作りが一番重要なのではないのでしょうか。 (50～59 歳、仙南)
 - テレビで一度見たのですが放課後塾の先生が学校にきてもらい子供たちの学力に合わせて勉強を教えるというのがありました。ぜひ全国的に広げてもらいたいです。学校から塾に行くより勉強しやすいと思います。 (30～39 歳、栗原)
 - 宮城県の小中学生の学力が全国平均を下回っていると聞いて心配しています。テレビやゲーム等、昔と違って遊びの多様化が進んでいる為とっております。家庭と学校が連携し子供の学習習慣が身に付くようにしていきたいと思います。 (50～59 歳、登米)
 - 男女共学についてはこれから県立では選べなくなり、どうしても別学希望の場合は私立に行かざるを得ないが家庭の負担は増える。何も無理に共学化しなくても今も思っている。 (40～49 歳、仙台市)
 - ゆとり教育はいい加減見直す時期でしょう。小学生も高学年になると毎日6時間授業では友達と遊ぶ暇もなければ家庭学習の時間もとれません。子供のためのゆとり教育ではなく教師のための「ゆとり」なのは? 「教師」は公務員ではなく「教師」という職業だし、そういう自覚と責任がなければ教師になる資格はないと思います。そういう点も含めて制度そのものの見直しを期待します。 (40～49 歳、仙台市)
 - 土、日休みどうにかならないものですか? 現代父母は仕事それ以外の大人が見られない「鍵っ子」が多いようです。せめて土曜日は子供だけの自由時間ボランティアの方々によるお手伝いをもらい運動、本読み、学級会、ゲームなどの日に使用させてもらいたいです。 (50～59 歳、大崎)
 - 学校週休2日制を見直すべきです。勉強のため行事をへらすのはよくないし、子供達の協力性を生かすためにいるんなら行事は必要です。 (30～39 歳、気仙沼・本吉)
 - 私は横浜で育ち、結婚でこちらに来てから、宮城が教育水準が低いことに本当にかっかりしています。子を持つ親として、ここで子育てするのは本当に不安です。学校の質を上げ、現役で希望の大学に入れることが当たり前になるよう、レベルアップを望みます。 (30～39 歳、石巻)
 - ①市町村の教育費は学校の維持管理費が大部分を占め、新規事業に取り組めていないようである。少子化も進行していることを踏まえ、学校の統合を図るなど、経費削減に努めソフト事業の充実をお願いしたい。
②学校の勉強では不足と思いい塾に通わせているが、家計に響いている。行政からの支援はないでしょうか?
③PTA行事等に父親の参加数が少ない。(母親にまかせきりの家庭が多い) そのため大きなイベントができない。
 - 少子化で各学校の人数が少なくなっている中、小さな学校を新築するより統合を考えた方が良い場合もあるのではないのでしょうか。10人や15人のクラスでは社会性も (50～59 歳、気仙沼・本吉)

- 身に付きにくく、高校に進学してからのギャップに戸惑う例も多く見えています。
- 物価高に対して、県の方で対処してほしい。道路特定財源での高速道路延長等はやめて、校舎等の改修に使用してほしい。 (50～59 歳、登米)
 - 先生は勉強だけを教えるのではなく、子供の心を育ててほしい。 (40～49 歳、大崎)
 - 以前のように土曜日にも学校に行って授業をしてほしい。 (50～59 歳、気仙沼・本吉)
 - 教員（一部）・・・保護者の意見を取り入れない。保護者（一部）・・・勘違いな意見を平気で言う。モラルのなさ→すぐに教育委員会 (40～49 歳、気仙沼・本吉)
 - 義務教育は、地域ごとに格差があってはならないと思う。仙台市だけが先行し、地方が遅れないような努力が必要だ。教育にもっとお金を使うべきだ。教材・教具の充実。問題を抱えた子供が増加しているのだから、教員の数を増やすか、1クラスの子供の人数（定数）を減らすべきだ。 (40～49 歳、栗原)
 - 教員の置かれている立場・境遇が大変そうである。ゆとりのある環境にしないと、質の低下につながる。当然評価は自由な発想・教育を損なう弊害もあるかもしれない。人が人を評価するのは大変難しい。 (30～39 歳、仙南)
 - 日本の教育界の閉鎖性、特異性が明治から何も変わらず。地方分権推進とともに教育の権限も地方に移すこと。全国一律の金太郎アメ教育は古い。無用の長物教育委員会は直ちに廃止。道州制を先取りした組織に変えるべし。行政の教育に対する介入を徹底してもらいたい。 (60～69 歳、仙南)
 - 小さな学校は大きな学校に従わなくてはいけないので寂しいです。小さな学校はそれなりの良さがあるはずなのですが・・・ (50～59 歳、仙南)
 - もっと教員を増やせ。 (60～69 歳、仙台)
 - 教育は、社会に役立つ人づくりなので、幼少期からの子育て義務教育での基本を立派な教師の下に指導してもらいたい。 (60～69 歳、大崎)
 - 小学校、中学校の義務教育期間、何で塾通いするか。学校でしっかり勉強させてほしい。 (60～69 歳、仙南)
 - 小中と学校でお世話になり感じたことですが、いずれも先生方にゆとりがなく、子どもの事で相談したいと思っても躊躇してしまった経験が何度かあり残念に思っていました。難しいとは思いますが、その点を改善していただけるととても助かります。 (30～39 歳、仙台市)
 - より以上の教育を望むとしたらレベルの高い仙台の学校に進むしかない。そのためには、経済面、その他いろいろと問題がある。だから、地元の学校教育を向上させてほしいです。 (50～59 歳、仙南)
 - 工業高校などで、希望者（中学生など）に物作りを教えること。 (40～49 歳、仙台)
 - 最近の学校教育は勉強ばかりを優先していて、子ども達の社会性や想像力、思いやり、コミュニケーション能力などが不足しているように思う。学力よりも人間として健やかになるような教育をしてほしい。 (30～39 歳、仙台市)
 - 週休二日制をなくした方がよい。宿題ばかり出されて子どもがかわいそう。（ついていけない人が多いと聞いた。）宿題を多く出すくらいなら学校で教えた方が子どもも身に付く。親も土曜日が出勤のため、子どもを一人家におきたくない（核家族のため）。 (20～29 歳、大崎)
 - (22)で教員の資質向上という項目がありましたが、担任の先生によって子ども達はとても左右されるという事をつくづく思っています。信頼できる先生が担任（教科担任）になると、先生の声がけ一つで勉強するようになったり、クラスの輪ができたりと影響が大きいです。人として信頼できる先生が増えてほしいと思います。 (40～49 歳、大崎)
 - 教師がサラリーマン化してはいけないと思う。それには、地域、家庭、学校の連携が必要になるのではないかと。少人数学校の方が活動しやすい。小中学校では合併ではなく、学区の見直しが必要。 (40～49 歳、登米)
 - 今の教育は決めつけ教育の感がある。（答えを出す教育）
答えに対して問題を考えさせる（5+□=9）のように結果よりも過程重視の教育も良いのでは。 (60～69 歳、無回答)
 - 教育時間の短縮を家庭での宿題で埋め合わせるのは少し変だと思う。子ども達が遊ぶ時間は平日の放課後にあっても良いはず！！土日は各家庭で出掛けたりする日だと思えば、私はあまり遊ぶことを自分の子ども達にはすすめていません。昔、土曜日の午後は私にとってとても大好きな時間でした。学校が午前で終わって友達と相談して遊んだからです。（大人も休みじゃなかったから） (30～39 歳、大崎)
 - 栗原市瀬峰では幼稚園が2年ですが、13:00降園のため、共働きの人は高い金を出しても保育所に小学校に入学するまで残っている人がいますが、園でも午後から (60～69 歳、栗原)

- 居残りで見てもらえると若い人達は助かると思いますが・・・。
- 教育者の質の良温。 (50～59 歳、仙台)
 - 幼稚園、小学校、中学校、高等学校の教員の声、つまり現場の声もしっかり聞いて、教育改革を進めてほしい。 (40～49 歳、仙台)
 - 英会話につながる英語教育の充実。 (50～59 歳、気仙沼・本吉)
 - 先日、新聞で先進国の中で子どもの教育にかける金額が少ないとの報道をみました。子どもは国の宝というのは表面上だけのものではないでしょうか。ほとんどの子どもは塾や通信教育などを行っています。学校と家庭学習のみで理解できる教育現場(教師の質と人数)の実現を希望します。 (40～49 歳、栗原)
 - 国の基準にかかわらず、地域の特色による、いろいろな県独自の基準等を作る(生徒、児童数に対する教師の加配や、小中一貫校の設立等)。宮城県の教育力を示せ! (50～59 歳、石巻)
 - 3学期制に戻すべき。高校生はともかく、中学生ではテスト範囲が広くなりすぎ、途方にくれてしまうのではないかと思う。夏休みが終わったと思うとまた秋休みでメリハリがない。通知票を3回にしてやり直しの機会を増やすべき。 (40～49 歳、仙台市)
 - 子どもの人数が少なくなっているが、多く集まっている地域もあるため、30人学級になるとよいと思う。 (40～49 歳、気仙沼・本吉)
 - ゆとり教育の根本をもう一度検討し、学力向上に努めていただきたいと思います。 (50～59 歳、石巻)
 - つめこみ教育ではなく、考える力、自分の考えを主張できる、コミュニケーション能力の強化はとても重要だと思う。教科書をつらつらと読む授業が日本では多いが、読むのは家で出来る事なのだから、学校ではもっと面白く学べる授業をするべきである。 (20～29 歳、仙台)
 - 高校教師のレベルの差が大きすぎる。 (40～49 歳、大崎)
 - ボランティア、奉仕作業の時間を増加させるべきだと思う。 (60～69 歳、仙南)
 - 教育の質について言えば、教育の目的によって内容は変わるので。全員が満足する教育なんて存在しないのです。なぜなら人それぞれ生きる目的が違うからです。全国で一番というのは美しいことですが、個人には意味のないことなのです。 (50～59 歳、気仙沼・本吉)
 - 学習には頭脳で理解することと体で覚えることなど二面的だと思います。このことが両立できたらよいと考えます。 (60～69 歳、気仙沼・本吉)
 - 今の学校は、親ばかり頼っています。もう少し先生達も教育にばかり力を入れなくて生徒に歩み寄って自然な感じで教えてみたらどうでしょうか。自分自身に責めすぎだと思います。バカになってやってみるのもいいと思います。 (30～39 歳、石巻)
 - 利府町内で取り組んでいる小・中・高の交流は大変良い。 (50～59 歳、仙台)
 - ゆとり教育を見直し、学習時間を多くしたり、二学期制にしたりと目まぐるしく方針が変わり、子ども達も大変なようだ。孫が東京にいるが、塾や予備校の出費が大変で親は頭を痛めている。小・中・高の一貫校が増えることを望んでいる。 (60～69 歳、栗原)
 - ①実力のある教職員の採用(度の過ぎた教職員の世襲体制は職業の固定化であり、これが教育の崩壊ではないですか?不正の噂は宮城県にもあります。)
②高等学校は公私共に一定レベルに達していない生徒の入卒を厳禁。 (60～69 歳、仙台)
 - 小学校の子どもが2人います。教師により教え方に差があると思う。上の子どもが小1の時の先生は、ひらがな、数字の基本をしっかりと教えてもらったが、下の子の場合、基本がままならない前に計算まで進んでいる。家では主に妻が見ているが、共稼ぎでなかなか時間がなく、母は痴呆なので、妻はストレス状態。毎日子どもをどなり、叱りつけている。教育的にもとても心配です。 (40～49 歳、栗原)
 - 特に高等学校については仙台市と他の地域で差がありすぎます。仙台市内の学力の上位にある高校に入れば、学校での指導だけで(塾や予備校のお世話にならず)志望する難関大学に入ることも可能ですが、地方の高校ではそれを望むべくもありません。自宅から仙台市に通えない場合、経済力のある家は、仕事のある父親だけを残し、母子で仙台に引っ越して行くのです。引っ越せない場合は、長期の休みは仙台のホテルや親戚の家から予備校通いです。お金がなければ諦めるだけです。学区制がなくなっても虚しいだけです。もっと地方の高校にも優秀な先生を回してください。体制を整えてやってください。差がありすぎます。 (50～59 歳、石巻)
 - 教師による犯罪の多さ。 (40～49 歳、仙台)
 - 今、子供の道徳心が薄れ、仕方なく指導(体罰)をすることもある教師があると思われま。これは他の生徒を保護する為しなければならない時もあるのではないのでしょうか?ルールを守らない生徒は問題にならない今の学校の体制に本当の問題があるのでは。社会に出たら社会のルールを守らなければ罰があります。もっと厳しい教室

- が必要ではないでしょうか。又、教師を守る県・市・町も必要です。
- 学校の休日があり多くなって学習する意欲がなくなっている。 (60～69 歳、無回答)
 - 日本語を大切にすることが重要、小学校での週 1 時間の英語もどき教育は不要。 (60～69 歳、気仙沼・本吉)
 - 学校においては、子供たちに「なぜ勉強をする必要があるのか」ということを理解させた上で勉強を教えてほしいと思う。また、教科の学習をいかにこなうかということではなく、子供の「学びたい」という気持ちを育てていくものであってほしい。 (20～29 歳、大崎)
 - 不登校は様々な原因があるとは思いますが、学校の責任も大きいと思います。他県での様々な取り組みを参考にして、その子の立ち直りをサポートする体制づくりを早急にするべきです。例えば、専門に担当する先生、支援スタッフを設ける、夜間の授業、学校に隣接した教室の設置 (子供の気持ちを考えてほしい) (50～59 歳、大崎)
 - 子供たちに教える側にある先生方に一般常識を知らずに先生になっている人が度々居る様な気がします。先生への不満や社会への不満や不安を少しでも子供たちに感じさせないように私たち親や先生が子供の目線に立って接してあげたら人として、優しさ、思いやりのある子が育ち、いじめや荒れた学校にならないと思います。親も先生も子供たちの鏡である事を忘れないでほしいと思います。 (40～49 歳、石巻)
 - 全国学力テストについて、全国で何位とかが問題ではなく出た結果をその次にどうつなげていくかだと思います。得意・不得意の差をちょっとでも少なくする各分野での努力が必要かと。 (50～59 歳、気仙沼・本吉)
 - スポーツをするのは大切だが、中学校は夜練等が多く部活中心の学校になっている。勉強がおろそかになり小学校から中学校に上がると成績が下がりすぎる。 (30～39 歳、栗原)
 - 今の子供は家庭では親のいうことを聞かないので困っている。学校での先生の体罰は多少必要と思う。我々小中の時代は悪いことをすると廊下に両手に水を入れたバケツを持たされ立たされたものである。先生とは強くもあり、よく話を聞いて相談に乗ってくれた。 (60～69 歳、仙南)
 - 各地区の教育長の選出に問題はないだろうか、市長や議員の関係で (なぜあの人が、あの人が議員になったから・・・) 教育長が決まっている。市全体の教育に目を向けるより、自分の方針を強行に押し出して学校に信頼を欠く言動がある。自分の考えに反対する教員は他の地区に行ってくれという言葉聞いた。人間関係を不信感でこわしている気がする。 (50～59 歳、登米)
 - 学校と家庭が今よりももっと交流する機会が増えれば、学校と家庭が協力し合い、情報を交換することができると思うので、学校側に交流できる時間 (ゆとり) をもう少し与えてほしいと思います。話す機会が増えれば、学力向上や進路などについて共通理解でき、子供の学力面や生活面での成長がはかれるかもしれません。 (20～29 歳、大崎)
 - 今の教育は生温いと思う。子供であっても一人の人間なのだから大人になれば一人で生きていかなければならない。もっと小さいうちから社会の厳しさを教えるべきだ。至れり尽くせりの教育は後々本人をだめにしてしまう。今の子供たちは甘えている。国のため、自分のため、世界に対応していける教育は必要だと思う。それでないで日本の国がだめになってしまう。大臣様一人の声だけできめる教育はやめてほしい。 (50～59 歳、登米)
 - 子供たちの学力低下は深刻な問題だと思います。私は、隔週でもいいので土曜日の授業は行うべきだと思います。また、私の友人の小学校では遠足は行わないと聞きました。授業時間の確保の為、子供たちの楽しみがなくなるのはかわいそうだし、学校外での子供たちのコミュニケーションや貴重な社会見学の手がかりが無くなるのは残念に思います。 (30～39 歳、石巻)
 - 読み書き計算の土台の上に日本の歴史教育将来のために職業の選択出来るよう仕事の大切さ、「働かざるは食うべからず」を教えてほしい。子供は親にされた事はまた自分の子供にしてしまう (すりこみ) 何があっても戦争はだめです。 (60～69 歳、仙台市)
 - 基本的コミュニケーション能力育成を希望。全 50 時間以上の指導で、あいさつ、おじぎ、敬語の使い方、社会人としてのマナー等を学習させ、今一番必要とされている人間としての基本を身に付けさせる。 (60～69 歳、石巻)
 - なぜ学ぶのか、なぜ学ぶ必要があるのか、まずこれを理解させ勉学のモチベーションを高めてやるのが大切。自ら学ぶ事への意欲が向上すれば結果はわかると思います。他県との学力比較については今後の指導の一参考になればいいのであって、それが必ずしも能力が劣ることにはならない。 (50～59 歳、仙台市)
 - 家族、友達を大切にし公德心を持ち合わせた日本人の心はどこにいったのでしょうか。あまりにも学習指導要領や評価の仕方の変化等、学校現場をめまぐるしく混乱させ一番の犠牲は子供たちだと思います。机上のアイディアで現場をいじりまわすことな

- く落ち着いた教育を進めてもらいたい。
- ①希望する学校へ入学させたいが、交通が不便である。教育機関と交通機関が連結となっていたら希望の学校へも入学できると思います。(40～49 歳、登米)
 - ②中途半端な発言をする先生、無責任としか言えません。
 - 今の学校は、ゆとり教育ということで毎週土曜日にも休みですが前みたいに月に1、2度の土曜日休みで良いと思います。なぜ毎週休みである必要があるのか、よく意味がわかりません。学力低下だとか言われていますが、休みを減らして勉強しては良いのではないのでしょうか？(30～39 歳、登米)
 - 現在の教育(学校)に必要なのは、道徳の時間だと考えております。道徳の中で、私は日常生活の知識等を学んだように思います。それと、教員の資質向上です。子供の目線での教育は本当に大切です。(50～59 歳、栗原)
 - 基本的生活習慣は家庭で、義務教育期間は基礎的学力をしっかりと教育すること。また小学生からの英語教育をすることよりも、もっと自国のことを知ることが大切と思う。国際人となるためにも。(60～69 歳、無回答)
 - 障害をもつ子供が負い目を感じることなく、教育を平等に受けられる社会であってほしいと願います。(幼稚園、小・中・高校ともに)(30～39 歳、登米)
 - 道徳をしっかり教えてくれる先生が必要になってくるのではないのでしょうか。人の命、自分の命を簡単に考えすぎている大人も子供も多い・・・残念です。(40～49 歳、気仙沼・本吉)
 - 教育と言いましても、いろんな教育があります。ただ一つ教育と言ったら信頼できないかと思います。親子関係も先生と子供たちも地域の人たちも、みんな優しい気持ちで信頼していけたらと思います。(50～59 歳、石巻)
 - 教育費、児童手当、医療手当の充実と統一をしてほしい。勉強も大事だと思うが、それよりも道徳をもっと教えるべきだと思う。疑問に思うのはなぜ性の勉強に力を入れないのか。特に中高生はもっとくわしく学習するべきだと思う。日本は恥ずかしいなど隠すことばかり気にしている。命の大切さや、避妊の方法をちゃんと教える必要があると思う。(20～29 歳、仙台)
 - 教育委員会がもっとオープンで密室で物事を決めるイメージを無くさなければ教職員の資質は良くならないと思う。(40～49 歳、大崎)
 - めまぐるしく変わる学校教育に対し、不安や不信を感じる。上層部の方でももっとしっかり先を見極め実践に移行できるよう努めてほしい。(50～59 歳、登米)
 - 子どもが古川黎明高校に通学しておりますが、中高一貫校というのはいろいろな面でもとても良いことだと思います。県内にもっと多くの中高一貫校を増やすべきだと思います。(40～49 歳、大崎)
 - 休みが多すぎると思う。道徳の時間をもっと増やした方がいいと思う。(20～29 歳、仙台市)
 - 教育の前の話ですが、先生を採用するときは頭脳明晰だけでなく心身共に強く、子どものことを第一に考え、モンスターペアレントに振りまわされないで子どもの話すことに耳を傾け誤った判断をして子どもにつらい思いをさせない先生を採用してください。(願望です。)(50～59 歳、石巻)
 - ※ 今大学生の娘が小学6年の時、いじめにあっているのに真逆のいじめている子にされ辛い思いをさせました。今で言うモンスター・・・です。自分の子どもだけいい子という親です。同じ地区で競争心の強い親子で、先生が振りまわされっぱなしでした。
 - 学力をつけることは確かに大切だが、そればかりを重視しないでほしい。今の学校は学校行事の縮小や音楽、美術などの科目を最小限にする傾向にあるように思う。学校での思い出づくりは子どもの心を育てるし、豊かな心は将来の夢を実現する力になると思う。(20～29 歳、気仙沼・本吉)
 - 今教育に対して色々な事が起きています。学校や教育委員会は教師達の教育をきちんと見直し面接や研修など出来れば頻繁にして個人の人間性を見てほしいです。あとは家庭環境において勉強も大事ですが親が子どもとコミュニケーションの時間を作って子どもの話をきいてあげることですかね。(30～39 歳、大崎)
 - 指導者らしい態度で子どもにかかわり、常に精神面を安定、コントロールを心がけて欲しい。(40～49 歳、大崎)
 - いじめに関して・・・自分が子どもだった頃と比べると今のいじめはとて陰湿だと思います。(我が子の経験上)自分の周りで実際に問題が起こらないと事の重大さに気づかないので学校などで常に命の大切さなどについて教えて欲しい。(30～39 歳、仙台)
 - 宮城県の教師のやる気が東北の他県、全国に比べて少ないと思う。もう少しやる気の

ある教師を採用するようにしたほうが良いと思う。

- あまりにも休日が多すぎる。親が教育よりも成績にこだわりすぎ。(60～69 歳、仙台市)
- 富県宮城にしていくためには、教育が重要と思います。受験戦争と言われた反省からゆとり教育が生まれたが、グローバル社会にあつて国際競争に負けないためには、教育に力を入れ、税金も投入すべきでないかと思ひます。学校教育に一層重点を置いた施策を講ぜられるようお願いします。(50～59 歳、仙台)
- 現代の教育においては家庭及び学校教育において厳しさが足りない。よつて精神的に弱い人間が増加していると思う。暴力を伴う指導も全てが間違ひではない。(30～39 歳、石巻)
- 私の子どもの時、道徳という時間がありました。楽しくはなかつたけれど子どもながらに考えることはありました。良いこと、悪いこと、やつてはいけない事があることを学びました。学校教育に道徳は必要です。是非やつて下さい。家庭教育がだめになっている今、親も子どもも道徳を学ぶべきだと思ひます。(40～49 歳、仙南)
- 教育の現場に退職教員OBや技術者OBの蓄積された優れた力を、ボランティアとして利用し、多忙化する現場を強力に援助、サポートする全県の体制づくりを計画、実施してほしい。(60～69 歳、仙台市)
- 高校の全県一学区制度によつて郡部の高校の入学希望者が減り、好成绩の子ども達が仙台の名門校に集中する可能性がある。それによつて郡部の高校が衰退化したりして経済的に恵まれず仙台の学校に進学できなかった子どもが不利益を受けないようにしてあげるべきである。(50～59 歳、登米)
- 中三の息子はLD障害児だが、現在、普通学級で学習し、学習以外は何もトラブルがなく他の子ども達にもLDと気づかれずに普通に生活していますが、記憶力障害のため成績は非常に悪く高校受験は大変なことです。将来の夢を持っているだけに、進める高校が選べないことに本人も親も不満と不安を感じています。経済的にも苦しい中で、私立でしか受け入れて貰えないのも現状です。クラスで1～2人はいるといわれるLD障害児を対象として支援制度を早く考えて欲しいと思ひます。(40～49 歳、仙台市)
- 私たちが子どもの頃、教育の面、生徒指導の面で、先生を信頼していました。現在の先生は全くその面でも低下していると思ひます。これが不登校の割合、学力の遅れが全国平均を下回っていると思ひます。先生方の再教育をお願いいたします。(60～69 歳、石巻)
- 高等学校の一律共学化には反対です。事前の調査も相談もなくある日突然決定され、その後は実施前提にして進んだように思われます。母校も共学化され、子ども達の母校も各々変わるようです。別学の良さがなくなり、各々の伝統が消え、一律化されるのに反対です。また、全県一学区になればどうしても都市部に生徒が集まり、親の負担も増え、通える人だけ選択でき、不平等のように思ひます。(50～59 歳、仙台)
- 教育者(先生)とは名ばかりで、マニュアルにそつて授業をしているだけの教員が多い。専門的な資質の向上を望む。(60～69 歳、仙台市)
- 大人は子どもに本当に飾らないありのままの自分を見せる。子どもはいつでも大人の姿を見ている。いつでもどこでも見ていると思ひます。子どもだけに教育、教育と言ひますが、自分たちがいつでも考えて行動しなくては行けないと思ひます。(40～49 歳、仙台)
- 昨今、学力向上とか道徳教育の強化等が云々されているが、学校においては学力向上に unnecessaryな教育活動が多すぎて教師の負担になっている現状でいるし、道徳教育の強化に至つては、校長、教頭、教職員もさることながら教育行政職や政治家そしてごく一般の大人、国民の中にも道徳性がかなり劣化していることに大変憂えているところである!!(元小学校長としての経験から)(60～69 歳、無回答)
- 宮城県の学力テストの低下について、家庭の職業のついでに就業について深く影響しており、少人数の教員指導によれば、学業成績の向上につながると思ひ、もう少し財政的な援助が必要だと思ひます。(50～59 歳、仙台)
- 一本筋の通つた教育を! 先を見通しコロコロ方針を変えない!(40～49 歳、仙台)
- (19)について、小学校で公文式に行き、中学校で平均3.4～4の評価で高校生で、1日家庭で3時間以上勉強すればセンター試験80%はできる。だから、小学生でできた生徒をできるまで教育すれば良いし、中学生では好きな教科を伸ばしてやり、できない教科を4レベルまで教え、高校では指導を生徒が希望した大学等に合わせれば良い。教育とはモチベーションを高め続けることと思ひます。(50～59 歳、大崎)

- 現実、親になりきれずに子どもを育てている人が多く、躰も何も出来ていない、子どもに目が向いていないという、根元の部分に指導が必要では？また、学校ではいじめ他があるにせよ、生徒を良く見ている教師は全くいない！それどころか、責任逃れするバカが多く、これでは教育する立場にないのでは？ (20～29 歳、気仙沼・本吉)
- アンケートの答えにも親の仕事が忙しく子どもと過ごす時間が少ないと何度もありましたが、働く姿を見て子どもは育つと思います。量よりは質でありたいと子どもに接して育てて来ました。今日は親が親でなくなっているのでは？「子どもと友達」の親や先生は必要ないと思います。 (50～59 歳、仙南)
- 児童館施設の市の職員の増員。宮城野小学校と東宮城野小学校の合同の児童館はなく、各学校別に共働きが増えて、利用する子供達も多いなど希望する子供達を入れるようにしてほしい。(全体的に考えてです) (30～39 歳、仙台市)
- 仙台市内などの都心部と、その他の地域とでは、学校以外での学習の場(塾など)に大きな差がある。私の住んでいる地区からだて車で30分以上かかります。一番は塾などに行かなくても十分に学べる学校教育が望ましい。家庭内での教育の低下が問題視されているが、最近増えている学校などへの理不尽なクレームなど、親自身のモラルの低下が問題なのではと思う。大人に対する地域ぐるみでの教育・指導も進めるべき。 (30～39 歳、石巻)
- 人間形成に必要な事は、家庭における乳幼児教育にあり、特に小中学校時期は、親と教師共に協力しながら厳然と教える必要がある。それにつけても教員による度重なる不祥事が全国的に多すぎる。教職員の資質の向上に努めると共にモンスターペアレントに敢然と立ち向かえる教師、教育委員会を作る事が急務と思われまます。 (60～69 歳、石巻)
- 家庭の経済格差が学力に影響を多大に与えていることを改善せねば、今後学力差は益々広がるであろう。総合的な学習は必要なのであろうか。 (40～49 歳、大崎)
- 子どもをもっと自由にし、他人でも叱れるような過保護じゃない親の教育や考えと改めさせること。学校も時には体罰も必要かと思う。 (30～39 歳、気仙沼・本吉)
- 夏休み等の長期休暇時になると、女子高生等の服装の乱れや化粧等、最近多く見受けまます。校外指導の徹底を願います。 (50～59 歳、仙台)
- 学校や教師に何でも押しつけるのではなく、子供より親が、親としての学ぶべき事があると思う。そして教師も心を持って生徒に向き合ってほしい。 (30～39 歳、大崎)
- 人間関係の基礎となる親子の関係、家庭としての力が弱くなっていることを痛切に感じまます。各々の家庭環境が違うので、難しい面もありますが、幼稚園や小学校の段階で人間としての基礎(思いやりやコミュニケーション能力、しつけ等々)がつくよう、市や町と幼稚園、学校が連携して親を親として育成して行くことが必要かと思いまます。 (50～59 歳、仙台市)
- 教育機関にあずける前の家庭での教育、しつけが大事であり、親になった時、子よりその親を道徳等教育する必要があるように思われる時代になっている気がする。また、学校教育に関わり合っている全ての人の教育のしなおしが必要。 (50～59 歳、石巻)
- 県の学力低下について。これは個々の問題ではないと思います。(教員、経験者、親、官が一体となり考えて行かなくてはと思う)教育も時代に変化すべき、そして、小中学校は、基本の基を第1に学ぶことは、楽しい事を見つけ出させる事が大事と思う。 (60～69 歳、大崎)
- 地域性を生かしたスポーツ教室の復活。身近にできる地域で始めてみる。尊敬できる先生を育成する。 (40～49 歳、大崎)

＜家庭・地域の役割、親・大人の教育などに関する意見＞

- 時代の流れでしようけど頑張っても何も出来ない気がします。でも子供にはいつも前を見てあきらめないよう大人は声かけていきたい。 (50～59 歳、石巻)
- 親、先生に限らず、子供たちの手本はすべて大人達であり偽装の問題など、人を騙したり傷つけたりしなければ暮らしていけないような社会だけは子供たちに引き継がせてはならない。 (40～49 歳、石巻)

- 頭脳だけでは人は生きられません。昔は農家に手伝いに行っておやつを食べさせてもらったことが忘れられません。畑仕事や田植え、稲刈りなど忙しい時は友達の家へ手伝いに行ったものです。汗を流していっぱい薫って大人の人からいろいろ心を教えてもらいました。子育てにも役立ちました。いろいろな知恵もさずけてもらえました。感謝で生きています。 (60～69 歳、栗原)
- 勉強も大切とは思いますが遊びから学ぶことも多いと思います。人間関係の大切さ、隣人関係の大切さ、特に地域の人々のあいさつを通して関係を深めていってほしい。 (50～59 歳、栗原)
- 朝、夕のあいさつが足りない。 (60～69 歳、気仙沼・本吉)
- 子育てよりも自分が大切と思う親が増加している。スポ少の活動が親子の時間、学習・睡眠の時間を減らす要因となっている。近年、子どもは親からペットのようにされ、自立するための力が付きにくくなっているように感じる。 (50～59 歳、登米)
- 学校や人任せの教育だけでなく、家庭教育や地域教育がもう少し必要ではないかと思う。 (60～69 歳、登米)
- 「親が仕事で忙しく子どもと過ごす時間が少ないなどの・・・」という表現をすることにとってもショックでした。これから仕事(就職)をせざるを得なくなった私にとって偏見以外ない表現でした。 (30～39 歳、仙台市)
- 地域の清掃、福祉体験等、学校外でのつながりを深めていくことも必要と思う。 (40～49 歳、大崎)
- やる気を起こさせる教育、子どもの力、適正を見極めてあげるのが親の役目だと思う。 (60～69 歳、仙台市)
- 中・高校生の家庭学習時間があまりにも少ないように感じます。努力した生徒が報われる社会というのは自由主義でいいのですが、社会人に無常識、無知識で入っていく人々が多く、モラルのない人々が増えています。得てしてそういう方々の犯罪が多く感じるの私だけでしょうか？ (30～39 歳、仙台市)
- 学校教育はもちろんだが、家庭、家族の大切さを子ども達に親が身をもって教えるべきである。 (40～49 歳、気仙沼・本吉)
- 親が子を殺したり、子が親を殺したり。親にもそのようなことがないように教育をしたりも大切だと思います。 (20～29 歳、栗原)
- 地域の技術(特技)を持つ人を掌握し活用しては、と思う。 (60～69 歳、登米)
- 保護者(親)の生活に、時間的、精神的な余裕がないので、子どもに対する教育ができない。家、車、グルメ、洋服、デジタルテレビ、携帯電話、ディズニーランド、アウトレットモールなどに目が向き、しつけや教育は他人任せである。 (40～49 歳、仙台)
- 親の自覚が大事。人任せではいい子どもは育たない。 (40～49 歳、仙台)
- 私もまだ親になりきれていないところもありますが、きっと自立できていないのだと思います。目標も、本当にやりたいことも、学生の頃は見付けられず、周りに流されていました。子どもには自立心や目標をしっかり持ってほしい。そのためには幼い頃からいろいろ経験するべきなんだと思います。難しいことは全く分かりませんが、人として間違ったことをしてほしくはありません。命について・・・もっと考えてほしいです。今の人達は何かを失ったことがなく、重要なことが理解できないのかなと思います。 (20～29 歳、大崎)
- 現実、親になりきれずに子どもを育てている人が多く、躰も何も出来ていない、子どもに目が向いていないという、根元の部分に指導が必要では？また、学校ではいじめ他があるにせよ、生徒を良く見ている教師は全くいない！それどころか、責任逃れするバカが多く、これでは教育する立場にないのでは？ (20～29 歳、気仙沼・本吉)
- 若い世帯で、家庭の子どもに対するしつけが全く出来ていない親が多すぎる。人間として生きていく上での社会的ルール、常識が身に付いていない。とても気になる。残念である。自己中心が多い。 (50～59 歳、仙台市)
- 人は一人では生きられません。必ず他人の力を必要とします。親子であれば両親のしつけ、教育。基本的な教育が必要です。外観ではなく、中味の充実です。心の大切さ、思いやりです。社会の変化等に対応する能力の教育も必要です。 (50～59 歳、栗原)
- 我々が今の政治に希望が持てないのと同じように、子ども達に夢と希望を与えられない環境を作ってしまった。物中心の生活の見直しが必要と思われます。 (50～59 歳、栗原)
- そろそろ団塊の世代と言われる人達がリタイヤする時期に入り、そのパワーを大いに生かして欲しいと思います。基本的な生活は子どもにとって必要不可欠なものだと思います。同時に幼児期からの親子のコミュニケーションの維持が難しい年齢になった (50～59 歳、石巻)

- 時でも対処できる大切なツールだと思います。
- 勉強も大切だが、豊かな心と人間性を育てることが最も大切だと思う。やはりそれを育てるのは学校ではなく家庭、親だと思う。幼児期から関わってくるし、親の質も問われてくるのかな、と思う。 (30～39 歳、登米)
 - とにかく現在の社会情勢は非常に乱れていると思います。全てにおいて教育、社会、就職等なんかおかしいですね。やはり基本的な教育が一番大事でしょうね。学業成績以上だと思います。 (50～59 歳、仙南)
 - 地域で子どもを見守っていく姿勢が大切だと思う。 (40～49 歳、仙南)
 - 自分の子ども達は、3人とも成人しており、今の教育については良く分かりませんが、悲しい事件など子ども達がおきる度”どうして”と心の中で思い、昔の自分の幼い時の事を重ねて思ってしまう。 (50～59 歳、仙南)
 - アンケートの答えにも親の仕事が忙しく子どもと過ごす時間が少ないと何度もありましたが、働く姿を見て子どもは育つと思います。量よりは質でありたいと子どもに接して育てて来ました。今日は親が親でなくなっているのでは？「子どもと友達」の親や先生は必要ないと思います。 (50～59 歳、仙南)
 - 私達の年代が“あたり前”と思って育ってきた事柄（たとえば、年上の人々を無条件に敬う。自分より力の弱い人や物（動植物も含む）には無条件に力を貸して助ける）。これらの事を「教育」とか難しい事ではなく、毎日の中で身に付かないのか？・・・案じています。 (50～59 歳、仙台市)
 - 特に家庭でのしつけ教育が必要と思う。近頃は奔放な子どもが多い気がするが、ある程度のストレス（がまん）を与えることも必要な気がする。基本的な人間としての教育（あいさつ、道徳）を学力テストなどより充実すべきだと考える。 (30～39 歳、石巻)
 - 大人のモラルの低さが大変影響していると思います。まず、やっていいこと、やっていけないこと、ゴミの捨て方、騒音、その他子どもが見ているのだから大人が教えることが大事です。 (40～49 歳、仙南)
 - 家庭での毎日の生活そのものが教育だと思います。 (50～59 歳、気仙沼・本吉)
 - 地域のお年寄りの理解がなく、外で遊ぶ事が出来ない、子どもの声がうるさいなど、周りの理解がとても少ない。 (40～49 歳、仙台市)
 - 子どもの数も減り、一人の子どもの教育も親が出来ずにいるのに学校にばかり頼ったり、先生が叱れば親が学校に乗り込んでいくなどもってのほかのような気がします。一人の子どものしつけもできないのに先生ばかり頼らない方が良く、また、生活のため、両親が働いているのが多い中ゆとり教育が良いのか？単位が足りないなどないようにもう少し学習に力を入れてほしいと思います。 (50～59 歳、仙台)
 - (1) 子どもは自然に入り自然に成長させること。行政は介入せず見守るようにすること。 (60～69 歳、仙台)
(2) 元気元気とおおらずに静かに落ち着いた生活を送らせるようにすること。
 - 物でも何でもありすぎて子供たちが我慢する事が出来なくなって来ている。あいさつの出来ない子供、自己中心的な人が多い気がします。人に対しての思いやりへのいたわりがたりない様に思います。 (無回答、大崎)
 - ・教育者（先生）の立場が弱いようだ。子供よりも保護者に問題があると思う。 (50～59 歳、石巻)
・自治体も市民（母親）には特に気をつかい過ぎ。
 - 私達の地域は私達で、事務局皆様がんばって下さい。 (50～59 歳、石巻)
 - 子供たちに無関心な大人が多い、子供に声をかける大人が少ない。子供も大人に対してあいさつをしない。連帯感がない。私は登校する子供に「おはよう」とあいさつしています。最初のうちは応えが返って来ませんがそのうち「おはようございます」と返って来ました。今では子供たちが先にあいさつしてくれます。お互いに気持ちがいいと感じています。 (60～69 歳、仙台)
 - 「モンスターペアレンツ」といわれる親が増えているようで、私たち世代の親と若い世代の親の考え方、育て方が変わってきているようです。若いお父さん・お母さん方に「子供を育てる」ことに関する、学べる機会が必要なのではないかと思います。 (40～49 歳、仙南)
 - 親が子供の教育、しつけが出来ないという環境を改善していく為に、父親・母親学級などの企画をもっと積極的に取り組む必要があると思う。 (50～59 歳、仙台)
 - 現在子育てしている親に対してですが、今しか教えられない事を悔いのない様に育ててもらいたいと思います。 (50～59 歳、栗原)

- 小さな子供が安心して住める地域にして下さい。 (50～59 歳、気仙沼・本吉)
- 教育は学校だけではなかなか難しいものであり特に家庭環境が重要であるのは充分に分かっているが、昭和ひとけた世代（戦争中の教育）が、なかなか今の社会に適応できず我が家では特に困っています。年はとつても、まだ教育がわかっていなくて自己中心的で子供と対立しており、なかなか望ましい環境がつかれない。 (40～49 歳、登米)
- 親の教育をすべき (50～59 歳、気仙沼・本吉)
- 家庭でも、いま、共働きでなければ充分な教育はむずかしい。更に、学校以外の学習となると、教育にお金がかかりすぎる。町に質の高いアドバイザーを置いたり、安心して勉強、体力作りする場を無料で利用できるようにつくってほしい。 (30～39 歳、登米)
- 物、食べ物がたくさんある生活環境、テレビ等の情報と子育てしていく難しさを強く感じます。教育・学費というより人間の質が日本人は落ちてきているので、根っこの部分から考えていかなければよい方向には行かない気がします。 (40～49 歳、仙台市)
- 老人クラブ等のコミュニケーションを通して人間関係の構築につとめる。 (60～69 歳、栗原)
- 子供達が大人のメディアや、発達した情報等に振り回され、子供達同士の自然でのふれあいを多くした方がよいように思う。 (60～69 歳、石巻)
- 児童館施設の市の職員の増員。宮城野小学校と東宮城野小学校の合同の児童館はなく、各学校別に共働きが増えて、利用する子供達も多いなど希望する子供達が入れるようにしてほしい。（全体的に考えてです） (30～39 歳、仙台市)
- 今の社会、核家族、昔のような大家族で人の心の痛み、思いやり、そして大家族の中での成長このような事が少ないのでは。もう少し、家族のあり方を考えてみてもらいたい。 (50～59 歳、仙南)
- 仙台市内などの都心部と、その他の地域とでは、学校以外での学習の場（塾など）に大きな差がある。私の住んでいる地区からだすと車で30分以上かかります。一番は塾などに行かなくても十分に学べる学校教育が望ましい。家庭内での教育の低下が問題視されているが、最近増えている学校などへの理不尽なクレームなど、親自身のモラルの低下が問題なのではと思う。大人に対する地域ぐるみでの教育・指導も進めるべき。 (30～39 歳、石巻)
- 教育の基本は家族だと思う。親世代の意識を向上させなければ子供の学力しつけの向上はないと考える。親の意識向上の対策も必要。（特に田舎では）総合的学習より知識の方が大切。知識がなければ判断思考が出来ない。ただし、芸術等感性を養うのも重要だと考える。 (50～59 歳、大崎)
- 親が子供にしななければならないことを学校の先生に押しつけすぎるとではないか。 (60～69 歳、仙台)
- 教育力のない親や、常識のない親が増えているため社会が乱れている。戦前のような厳しい世の中にすべきだ。 (40～49 歳、石巻)
- 子供の頃から自由に個人の意思を尊重させて等の教育、しつけを先行させた教育、養育が、今となっては他人の事を考えない人間を作り上げていると思う。自由も大事だが、それ以前にしつけなければならない事が多くある。今の教育はそれが欠けているし、家庭でもしつけ方を忘れている。今更核家族をなくせないが、失ったものも多いと思う。先人に習う事も多々あるような気がします。 (40～49 歳、仙台)
- 現在の子供達を取り巻く社会環境はとてつもないと厳しいと思います。携帯電話を使った巧妙ないじめもあるといひます。そんな中で、我が子をどう守り育てていったらいいか、正直不安です。子供の心がすさんでいる原因には、親自身のモラルの低下もあると思います。子供の教育と共に親の教育も必要なのではないかと思います。 (40～49 歳、仙南)
- 苦勞を知らない。思いやりのない。気ままな生き方について、また、物の大切さ、この様な子どもが非常に多いので教育をお願いしたい。 (50～59 歳、石巻)
- 自分は僧侶であります。声高く良いことをしましょう、悪いことはしないように、と自分が毎日曜日寺子屋で言っています。子どもに言っても親がダメ。我々世代の親場その親を教育してきたので、そのあいまいさが今に出ているのでしょうか。宗教家がダメなのだと思っています。残された時間を子どもの教育にと思っています。 (60～69 歳、仙台)
- 子ども達の教育も必要ですが、親、家族、教育者などまだまだ知らないことが多いことだと思います。自分も含め、中途半端に覚えているものも多々あります。将来の子ども達に「自分に生きる教育」を教えてもらいたいと思います。 (30～39 歳、大崎)

- 人間形成に必要な事は、家庭における乳幼児教育にあり、特に小中学校時期は、親と教師共に協力しながら厳然と教える必要がある。それにつけても教員による度重なる不祥事が全国的に多すぎる。教職員の資質の向上に努めると共にモンスターペアレントに敢然と立ち向かえる教師、教育委員会を作る事が急務と思われます。(60～69 歳、石巻)
- 子どものしつけ、態度、言葉使いは、家庭教育の環境要因が第一と考えます。親が、子どもと向き合う時間、向き合う方向を考え、作ることから始まるとも思います。(40～49 歳、仙台市)
- 家庭の経済格差が学力に影響を多大に与えていることを改善せねば、今後学力差は益々広がるであろう。総合的な学習は必要なのであろうか。(40～49 歳、大崎)
- 現在の子育て世代の方は年輩者の意見を耳にせず独自の世界を作り、子育てをしている様に思われます。高齢者をいたわり意見を参考にすることは良い教育につながると考えられます。(50～59 歳、気仙沼・本吉)
- 子供が少なくなっており、学校の教室が開いているので地域の高齢者に開放して子供達をもっとたくさん話が出来るようにしてほしいと思います。母親は朝起きて子供に朝ごはんを食べさせるべきだと思います。(40～49 歳、登米)
- 家では孫が2人いてびいちゃんから7人家族ですが言葉遣いも大事にしてほしいともいます。年寄りがいるので丁寧にしています。(60～69 歳、栗原)
- その時代にあった教育の見直し。いつの世も大人の責任ある行動と愛です。親の後ろ姿を子供はみえています。一生前進あるのみの勉強です。(60～69 歳、気仙沼・本吉)
- 各地域の自然・文化・歴史を良く理解し、伝達する能力を持つ人材育成に力を入れること。そして、その際の指導者となる人あるいは機関への助成の充実をはかってほしい。(30～39 歳、気仙沼・本吉)
- 先日の敬老の日に、小Pをお願いしてお年寄りの肩もみとゲームをしたところ、どちらからも大変喜ばれました。そこから何かが生まれたような気がしました。1時間半かかってやっとアンケート終わります。(50～59 歳、栗原)
- 子どもをもっと自由にし、他人でも叱れるような過保護じゃない親の教育や考えと改めさせること。学校も時には体罰も必要かと思う。(30～39 歳、気仙沼・本吉)
- 夏休み等の長期休暇時になると、女子高生等の服装の乱れや化粧等、最近多く見受けます。校外指導の徹底を願います。(50～59 歳、仙台)
- 学校や教師に何でも押しつけるのではなく、子供より親が、親としての学ぶべき事があると思う。そして教師も心を持って生徒に向き合してほしい。(30～39 歳、大崎)
- 学校の先生方は一部の方々を除いて皆一生懸命に努力されていると思います。今の時代は親の教育が子供の教育より先に行わなければならないのではと思います。自分が良ければ主義（自己中心主義）があまりにも目につきます。本来子供のしつけ等は親がきちんと行うべき事と思います。自由主義には権利と義務が同等にあるのに権利のみを主張する親子さん多いように思えます。小手先の処理よりも基本的な問題を解決された方が良くと思います。今回の県民意識調査も必要でしょうが、それよりも、もっと先に行くことがあると思います。(50～59 歳、石巻)
- 基本の挨拶も出来ない子供が増えている今世代、子供よりも子育てする親の方に根本的な教育が必要になっている気がします。(50～59 歳、仙南)
- 親の責任をはっきりと親に自覚させること。(50～59 歳、仙南)
- 知識も大切だと思いますが、それよりも子供はよく遊び食べ眠ることが大事なのではと思います。遊びのなかで人間関係や危険の判断ができ、食べることで健やかに成長し、眠ることで脳の働きが活性化します。今の子供たちはこの3つが足りない為に色々な問題が生じるのではないのでしょうか。これは、大人の責任だと思い、家庭・社会で改善していかなければいけない課題だと思います。(30～39 歳、仙南)
- 教育は家庭からだと思います。まずは家庭がしっかりと子供との対話をもって見つめなおしていかなければいけないと思います。(50～59 歳、石巻)
- 現在、物があふれていますが例えば洋服が着ないとゴミ収集の日に置いてありますがエコの時代、使えなくなったものを利用して指導してくれる人がいたらさいわいです。（地域）(20～29 歳、仙南)
- 子供たちの教育改革よりも、まず大人達の倫理感、道徳心の欠如が目に見える、まず公たる者長たる者が子供たちにもみずから範となるようにしなければいけないと思う。子供たちが未来に夢を持てる社会をつくるのが一番の教育改革だ。(60～69 歳、仙台市)
- 子供の教育に関しては、親、学校、行政、地域がお互いに責任をなすり合っているような気がする。今こそ家庭（特に父親）の大切さをアピールすべきです。(50～59 歳、仙南)

- 教育、子育ては、家庭、学校、地域のみんなでするものだと思います。そして、特に家庭では両親がきちんと協力し合って、子育てをしていかななくてはならないと思います。子育てに父親が参加していくことが、より子供たちにとって良い影響になると思います。母親も心強くなると思います。父親の参加しやすい教育の場を考えて作っていかねばと思います。(30～39 歳、気仙沼・本吉)
- 今の親たちは教員に対してあまりうるさ過ぎると思います。もうすこし自由にやらせてみても良いと思います。(50～59 歳、大崎)
- 道徳心、社会のルールを確実に教育が必要であり、地域活動を行うため町内会、保護者、教員の連携が重要である。(50～59 歳、仙台)
- 最近、モンスターペアレントもですが、モンスターチルドレンもいるそうですね。悲しいです。自分はモンペではないと思っているモンペがモンチルを育てている、ということに気づかないというのもちよっと・・・。(20～29 歳、仙南)
- 最も効果的な教育は大人達が自らの生きる社会を改善する努力を続けることである。他県ではボランティア活動への参加を内申に反映させているそうだが、見返りを求めないのがボランティアの本質であることを教えることこそ教育だと思う。(40～49 歳、大崎)
- 人間関係の基礎となる親子の関係、家庭としての力が弱くなっていることを痛切に感じます。各々の家庭環境が違うので、難しい面もありますが、幼稚園や小学校の段階で人間としての基礎(思いやりやコミュニケーション能力、しつけ等々)がつくよう、市や町と幼稚園、学校が連携して親を親として育成して行くことが必要かと思いません。(50～59 歳、仙台市)
- 教育機関にあずける前の家庭での教育、しつけが大事であり、親になった時、子よりその親を道徳等教育する必要があるように思われる時代になっている気がする。また、学校教育に関わり合っている全ての人の教育のしなおいが必要。(50～59 歳、石巻)
- 教育とは一番目は親、次に教育等指導者又は地域の大人達であり、子ども達が誤った行動に躰をする義務があるため、時には厳しく時には優しく見守ってやるのが一番教育として大事なことである。(60～69 歳、仙台市)
- 今は共働きが多く子どもを産んでも自分の子であり自分の子でない状態です。母親が勤めていますと核家族ですと保育所又は祖父母まかせです。自分で育てられる家庭が一番だと思います。しかし、今の世の中働かないと生活できない状態です。せめて親子のコミュニケーションだけは十分に取れる家庭にしていってほしいです。(50～59 歳、大崎)
- 学校などで現在このような授業(内容)が行っているなど学校→家庭でのやりとりも必要なのでは？(30～39 歳、石巻)
- 食育にもっと力を入れた方がいいと思います。体にきちんとした栄養が入れば、心も体も育つのではないのでしょうか。学校で、親に講演会を開いて自覚させる。(50～59 歳、仙台市)
- 上を見れば教師の優しい目、厳しい目があつた昔と違い、現在、教師の目線は子どもと同じになっている。確かに子どもの心は掴んでいるが、それは将来への道案内人としてではなく一緒に走る同志として。恐いものなし。個性を重んじるあまり協調性が欠けている。モラルを大切にす大人たちの中で子ども達は成長することが望ましいのではないかと思う。子どもの笑顔を大切にしながら、新米の親や教師が育っていける社会であつてほしいものだ。教師を始め、他職種の研修会は、あらゆる形で開催されているが、「親」を育てるための研修会に相当する者は、妊婦を対象にした「母親学級」しか思い当たらない。幼児期、学童期、思春期など子どもの成長に伴つた親のあり方、研修会のようなものがあつてもいいのではないか。(50～59 歳、仙台)
- 学校と家庭間の信頼関係が弱くなつてきているように思う。モンスターペアレントなど、少しの事でも苦情を言ってくる保護者もいるので教育関係者の方々も大変だと思いますが、金八先生のような熱い情熱を持つて生徒たちにぶつかつていってほしいです。(30～39 歳、仙南)
- 教育の場を与えるのが国や県であり、それに参加するのが各家庭や地域だと思う。何もかも国や県で勝手に決め失敗してから国民に意見を聴いても遅いと思う。もう少しあなた達が意識を高めるべきではないでしょうか？(30～39 歳、仙南)
- 週休2日制を導入した時から、何かかえつてゆとりがなくなつてきたように思います。土日に何もすることがない子どもは、朝、お昼近くまで寝ていたり、テレビや音楽、パソコンに向かいっぱなしでかえつて不健康的だと思います。先生方の休日等の関係もあるでしょうが、月～金まで遅くまでつめこみの勉強をして、本当に頭に入つているのかと疑問に思います。他に携帯電話も中学までは禁止してほしいと思います。家庭の事情もあると思いますが、持つていても犯罪に巻き込まれるときは巻き込

まれるのではないのでしょうか。

- 小、中学校の授業に地域に住む人の授業を取り入れ、伝統文化を残す取組がもっと必要ではないか。また、気軽に子どもに声をかけにくい。社会背景（事件等による）にも問題（知らない人には近寄らない）があると思う。解決するには子ども達が大人の顔と名前を覚えることが大事と思う。
(50～59 歳、登米)
- 教員の質を高めるための教育。親の教育。
(無回答、無回答)
- ①小学校での躾をもっともっと教育してほしいです。「親しき仲にも礼儀あり」と言うように家庭内でもおはようといえる家庭造りをしてほしい。
(50～59 歳、大崎)
- ②ルール、マナーの教育をもっとしてほしい。
- 女子高生のスカートの短さ！！なんとかならないのか？どうして学校で許可しているのかわかりません。生活指導部とかないのでしょうか？教養のなさでスカートの丈が比例しているように見える。（バカな子供程スカートの丈が短い）犯罪を誘発しているように見える。親は毎日服装を見ているのでしょうか？
(50～59 歳、石巻)
- 宮城県の小中学生の学力が全国平均を下回っていると聞いて心配しています。テレビやゲーム等、昔と違って遊びの多様化が進んでいる為とっております。家庭と学校が連携し子供の学習習慣が身に付くようにしていきたいと思えます。
(50～59 歳、登米)
- ①市町村の教育費は学校の維持管理費が大部分を占め、新規事業に取り組めていないようである。少子化も進行していることを踏まえ、学校の統合を図るなど、経費削減に努めソフト事業の充実をお願いしたい。
(30～39 歳、大崎)
- ②学校の勉強では不足と思ひ塾に通わせているが、家計に響いている。行政からの支援はないのでしょうか？
- ③PTA行事等に父親の参加数が少ない。（母親にまかせきりの家庭が多い）そのため大きなイベントができない。
- 教員（一部）・・・保護者の意見を取り入れない。保護者（一部）・・・勘違いな意見を平気で言う。モラルのなさ→すぐに教育委員会
(40～49 歳、気仙沼・本吉)
- 週休二日制をなくした方が良い。宿題ばかり出されて子どもがかわいそう。（ついていけない人が多いと聞いた。）宿題を多く出すくらいなら学校で教えた方が子どもも身に付く。親も土曜日が出勤のため、子どもを一人家におきたくない（核家族のため）。
(20～29 歳、大崎)
- 小学校の子どもが2人います。教師により教え方に差があると思う。上の子どもが小1の時の先生は、ひらがな、数字の基本をしっかりと教えてもらったが、下の子の場合、基本がままならない前に計算まで進んでいる。家では主に妻が見ているが、共稼ぎでなかなか時間がなく、母は痴呆なので、妻はストレス状態。毎日子どもをどなり、叱りつけている。教育的にもとても心配です。
(40～49 歳、栗原)
- 子供たちに教える側にある先生方に一般常識を知らずに先生になっている人が度々居る様な気がします。先生への不満や社会への不満や不安を少しでも子供たちに感じさせないように私たち親や先生が子供の目線に立って接してあげたら人として、優しさ、思いやりのある子が育ち、いじめや荒れた学校にならないと思います。親も先生も子供たちの鏡である事を忘れないでほしいと思います。
(40～49 歳、石巻)
- 学校と家庭が今よりももっと交流する機会が増えれば、学校と家庭が協力し合い、情報を交換することができると思うので、学校側に交流できる時間（ゆとり）をもう少し与えてほしいと思います。話す機会が増えれば、学力向上や進路などについて共通理解でき、子供の学力面や生活面での成長がはかれるかもしれません。
(20～29 歳、大崎)
- 読み書き計算の土台の上に日本の歴史を教える将来のために職業の選択出来るよう仕事の大切さ、「働かざるは食うべからず」を教えてほしい。子供は親にされた事はまた自分の子供にしてしまう（すりこみ）何があっても戦争はだめです。
(60～69 歳、仙台市)
- 基本的な生活習慣は家庭で、義務教育期間は基礎的学力をしっかりと教育すること。また小学生からの英語教育をすることよりも、もっと自国のことを知ることが大切と思う。国際人となるためにも。
(60～69 歳、無回答)
- 教育と言いましても、いろんな教育があります。ただ一つ教育と言ったら信頼できないかと思ひます。親子関係も先生と子供たちも地域の人たちも、みんな優しい気持ちで信頼していけたらと思ひます。
(50～59 歳、石巻)

- 教育の前の話ですが、先生を採用するときは頭脳明晰だけでなく心身共に強く、子どものことを第一に考え、モンスターペアレントに振りまわされないで子どもの話すことに耳を傾け誤った判断をして子どもにつらい思いをさせない先生を採用してください。(願望です。) (50～59 歳、石巻)
※ 今大学生の娘が小学6年の時、いじめにあっているのに真逆のいじめている子にされ辛い思いをさせました。今で言うモンスター・・・です。自分の子どもだけいい子という親です。同じ地区で競争心の強い親子で、先生が振りまわされっぱなしでした。
- 今教育に対して色々な事が起きています。学校や教育委員会は教師達の教育をきちんと見直し面接や研修など出来れば頻繁にして個人の人間性を見てほしいです。あとは家庭環境において勉強も大事ですが親が子どもとコミュニケーションの時間を作って子どもの話をきいてあげることですかね。(30～39 歳、大崎)
- あまりにも休日が多すぎる。親が教育よりも成績にこだわりすぎ。(60～69 歳、仙台市)
- 現代の教育においては家庭及び学校教育において厳しさが足りない。よって精神的に弱い人間が増加していると思う。暴力を伴う指導も全てが間違いではない。(30～39 歳、石巻)
- 私の子どもの時、道徳という時間がありました。楽しくはなかったけれど子どもながらに考えることはありました。良いこと、悪いこと、やってはいけない事があることを学びました。学校教育に道徳は必要です。是非やって下さい。家庭教育がだめになっている今、親も子どもも道徳を学ぶべきだと思います。(40～49 歳、仙南)
- 昨今、学力向上とか道徳教育の強化等が云々されているが、学校においては学力向上に不必要な教育活動があまりに多すぎて教師の負担になっている現状でいるし、道徳教育の強化に至っては、校長、教頭、教職員もさることながら教育行政職や政治家そしてごく一般の大人、国民の中にも道徳性がかなり劣化していることに大変憂えているところである！！(元小学校長としての経験から)(60～69 歳、無回答)
- 宮城県の学力テストの低下について、家庭の職業のついての就業について深く影響しており、少人数の教員指導によれば、学業成績の向上につながると思い、もう少し財政的な援助が必要だと思います。(50～59 歳、仙台)
- 県の学力低下について。これは個々の問題ではないと思います。(教員、経験者、親、官が一体となり考えて行かなくてはと思う)教育も時代に変化すべき、そして、小中学校は、基本の基を第1に学ぶことは、楽しい事を見つけ出させる事が大事と思う。(60～69 歳、大崎)

<社会全体の風潮、経済状況などについて>

- 自殺や犯罪の多い昨今、人間的な暮らしのできない元は、フリーターや派遣社員では、生活や結婚もできず、子どもの教育もままならず、企業では、正社員として入社させるべきです。宮城県から実行してほしい。(60～69 歳、石巻)
- 点数や学歴だけで子どもを判断しない社会になってもらいたいです。子どもを育てながらも働きやすい職場になるよう働きかけてほしい。(20～29 歳、大崎)
- 全国的に、学校での勉強よりも塾での勉強に熱心ですが、経済的に恵まれている家庭と貧しい家庭にあまりにもギャップがあります。平等に子ども達に勉強できる環境にしてほしいです。(30～39 歳、仙台市)
- 昨今のいろいろな問題は教育も含めて各年代での人材の劣化が原因ではないでしょうか。(50～59 歳、登米)
- 特に目につくのは、最低限のルールである自転車の乗り方(左、右)教育、家庭、学校のどちらでやるか分からないが、しっかり教えるべき。これに類似した初歩的なルールについても早い時期に教え身に付けさせるべき。(50～59 歳、登米)
- 大学だけがすべてではありませんが、民間会社、公務員とも最初は成績で選んでしまう。我が社では一次(筆記)二次(面接)のあと、三次(昼食)試験を行い、ご飯つぶをひとつぶも残さず食べた人を採用しました。(50～59 歳、大崎)
- 社会全体で再認識をし信念を持ち、悪い流れを変えていかなければ未来がどんどん暗くなる。危機感を忘れるな！(30～39 歳、仙台市)

- ①子供にもどんな日本ならいいとか、どんな大人になりたいとか、どんな事に興味があるだとか、とにかく色々聞いてみたらいいのでは？何か気づきもしなかったことが良い悪いに関わらず見えてくるかも？ (30～39 歳、仙南)
- ②今の 20 歳付近の学生だのフリーターだのは使い物にならない。「ゆとり」ありすぎと違いますか？仕事に対する責任感や自主性や、おまけに体力もない。これで知力もないときたら宮城ならず日本は終わってしまいます。 (60～69 歳、栗原)
- 今現在都会に住んでいる人たちが盆暮れに田舎に帰るのをいやがる原因というのがトイレが水洗でないとかクーラーがないからとか風呂が古くてシャワーもないから・・・なんて贅沢なと思います。そんな教育方法を根本から直して欲しい。あと食生活食文化の乱れとお金で何もかも手に入るこんな社会の風潮をもう少し真剣に考え直してみたいものです。 (60～69 歳、石巻)
- 勉強も大事ですが、その時間を少し昔の「物」が不自由で手に入らなかった事とか戦争で若い命が沢山失われた事など、そして親を大事に思うことなど強く知って貰いたいです。 (60～69 歳、石巻)
- 村井知事は県内に自動車産業を持ち込む等、県民経済を向上させるべく、努力されているのでますますがんばってほしいと思う。仙台圏から遠いところでもその波及効果は必ずあると思う。 (60～69 歳、気仙沼・本吉)
- 現在私は 2 つの高校で就職支援の仕事をさせていただいておりますが、6～7 年前よりも経済的格差がひどくなっています。進学率の向上を目指す意志を高校入学時点で捨ててきています。進学したくてもできない生徒が多いようです。大学進学率の向上ということを進捗するには、経済的バックアップも考えるべきでしょう。就職を考えている生徒達の資質能力を上級学校に向けさせてあげられることを念じています。 (60～69 歳、大崎)
- 毎日毎日の社会情勢の変化。ニュースで伝えられる出来事を目にし耳にし、心痛む事・腹立だしい事、悲しい事の連続で先の短い世代はともかく、これからの子供達そして若い人たちは、普通に生きていく事が本当に大変だと思う毎日です。だからこそやはり、教育は何より大切な事だと思います。全人的教育が今こそ必要なとき(グループスカヤの理論)と思います。そして、思考力をつけること。大人が変わることが必要。机上の言葉を並べても子供には本当のことは伝わらない。マスコミの責任も大。教育だけ論じても社会体制の中で考えないと効果は薄いのではないのでしょうか。 (60～69 歳、石巻)
- 現在の情報量の大きさは、昔と比べものにならないと思います。それを減らすことは不可能です。ならば今のゲーム機、携帯電話、インターネットを生かした教育もあるのではないのでしょうか。必要な物と不必要な物を分けるのは自分しかいないのですから。 (50～59 歳、石巻)
- 小中学生の基礎的体力の低下やモラルなどが不足している。相手を敬ったり友達と協力したり自分から行動することが出来ない。今は教師が怒ったり叩いたりすることが出来ないから生徒がつけあがってしまう。相手の痛みも知らないし、ある程度の叩いたりして教えることは必要と思う。 (20～29 歳、石巻)
- 「大卒は一種のブランド」金銭的な問題(家庭の諸事情)で進学できなかった者にとって、これはとても傷付く言葉です。二流・三流の大学であっても「大卒」ということだけで特別視され、企業への就職も有利になるこの時代。特に田舎はその意識が根強いので、会社でも肩身が狭い。正直、働く意欲を失う。学歴だけでなく実力重視な社会になって欲しい。教育からそのあたりを変えていって欲しいと思う。 (20～29 歳、石巻)
- 宮城の経済の活性化だけでなく、自然環境・自然遺産を大切に育む教育、そして第一基幹産業である農業を、そしてそれを取り巻く自然環境の大切さ、食の大切さ、つくる喜びを味わえる教育環境がますます重要になってくると思います。 (60～69 歳、栗原)
- 教育問題は、政治、経済、マスメディア等を含めた日本社会全体の問題だと思う。親や学校だけの責任ではない。日本の子供を良くするために全国が協力して欲しい。一人一人ができる事は限られていても、全国民が「日本を良くしたい」と思えばできると思います。 (60～69 歳、栗原)
- 今の社会は勉強ができる人ほど問題を起こしていると思う。頭がよければいいのではなく、中身をきちんと見てくれる教育の現場であってほしい。学校でも家庭でもまっすぐな愛情があれば、こんなにひどい世の中にはならないはず！ (20～29 歳、仙台市)
- 県の学力低下について。これは個々の問題ではないと思います。(教員、経験者、親、官が一体となり考えて行かなくてはと思う)教育も時代に変化するべき、そして、小中学校は、基本の基を第 1 に学ぶことは、楽しい事を見つけさせる事が大事と思う。 (60～69 歳、大崎)
- 今、特にあきれている事があります。それは子供から青少年まで男女ともに言葉使い (50～59 歳、仙台市)

が乱れに乱れています。改善は出来ないのでしょうか。

- 私の住んでいる地域は、子供が少ない為、将来のことを考えると次世代の人たちは地元に戻らず都市で暮らした方がいいのではと思います。不便な地域では授業料の他に交通費やアパート代など出費がかさみます。 (50～59 歳、栗原)
- 現在の教育では“自由”という事がまちがって解釈されているのではないのでしょうか？女子高生の服装・化粧は目に余る物があり公共の場でも周囲にはばかる事もない行動には年代の差といわれればそれまでだが家庭でも学校でも手に負えない所まできている気がします。 (60～69 歳、石巻)
- (19)の大学進学低位について
 - ①経済的な安定が必要であると思う。第一次産業の収入の低下により子供を進学させたくても難しいと思う。 (50～59 歳、栗原)
 - ②子供たちが将来について夢が持てないためだと思う。
 - a. 就職難である。b. 就職しても給料が上がらない。
- 今は親も子供達もとても心がまざしいと思います。 (50～59 歳、気仙沼・本吉)
- 個人の自由が尊重されていますが、他人に迷惑をかけない事ではないのでしょうか。大きく言えば、今の時代は自分さえ良ければと考えている人が多いようです。一人では生きていけないので互いに協力心を持ち気軽に話が出来人間関係を持ち、世を明るくすること。子供たちをみんなで育てていきましょう。 (60～69 歳、仙南)
- 教育しようにも子供の数が減ってしまい、もうすぐ教員の失業も増えるでしょう。少子化対策大臣に日本(東北)の人口を増やしてもらいましょう。たぶん無理でしょうね。私の以前からの持論である「出産祝い金1,000万円の給付」は少子化対策に圧倒的に効果があると思います。どうですか？ (60～69 歳、仙台市)
- 一般的に今の若者は無責任、無関心と言われていますが、よく見ますと一生懸命自己を高めようと努力している子供も沢山います。無責任、無関心を装っている子供もその大半は大人に責任あることが多く同情すら感じます。今の世の中、信頼を傷つけること多く、自己中心で他人の立場を考えようとしなない人が多くとても悲しい現実です。どうしたら、改善の方向に進むか私自身も困り果てています。 (70 歳以上、大崎)
- 事件など多い為か、あいさつが出来ていない。あいさつはコミュニケーションのはじまりと思う。 (50～59 歳、気仙沼・本吉)
- 他の都道府県と比較するよりも「宮城県」や「仙台」、「東北地方」のポテンシャルを上げる事。東京都の人口は今や1200万人以上となりへたな「ヨーロッパ」や「中南米」の国々より人口が多い。都会と地方、自分と他を比較する自体が無意味。まずは将来のために己のポテンシャルを上昇させるのが重要である。 (40～49 歳、仙台市)
- 今、少年少女の犯罪事件、そして子どもを標的にした事件が多くあります。子ども達が安心して勉強そして学べる場を環境を守ってほしいです。 (30～39 歳、気仙沼・本吉)
- 人生を心楽しく全うする人がたくさんいるようにと思います。自分の生活が忙しく、また苦しいとしても他人にもそれぞれの人生を楽しく過ごす権利があるんだから邪魔しない。そんな無関心なことでも困りますね。他人の苦しみにも一緒に泣けるのが豊かな人生なのかなあ。 (70 歳以上、登米)
- 住んでいる地域によって学習の質や意欲に差が出ないような環境整備を行ってほしい。 (20～29 歳、石巻)
- 今の50歳以下の方々は道徳を習っていないため、子どもにそれを教えなさいと言うのは無理です。学校や保育所等がやって良いこと、悪いこと、人間として最低限のマナーを小さいときから教えてください。日本人として恥ずかしくない常識を教えてください。 (50～59 歳、仙台市)
- 現在の社会では、中央一極集中型で地方密着型の魅力ある教育制度の確立と地元に残って生涯社会に貢献できる様な職場を育成すること。そのため、外部より企業を持ってくるより、地元育成、補助して育てることと、国立、県立のみならず私学をもっと充実させ、若者定着の活性化にすべきである。 (60～69 歳、仙台市)
- 物価高に対して、県の方で対処してほしい。道路特定財源での高速道路延長等はやめて、校舎等の改修に使用してほしい。 (50～59 歳、登米)
- 物、食べ物がたくさんある生活環境、テレビ等の情報と子育てしていく難しさを強く感じます。教育・学費というより人間の質が日本人は落ちてきているので、根っこの部分から考えていかなければよい方向には行かない気がします。 (40～49 歳、仙台市)

<生涯学習・スポーツ・芸術などについて>

- 現在住んでいる地域は子どもとの交流の場、生涯学習の場が少ない。(もしくは情報がないだけかもしれませんが) そういった場(情報)の拡充を求めます。(40~49歳、栗原)
- 地域性を生かしたスポーツ教室の復活。身近にできる地域で始めてみる。尊敬できる先生を育成する。(40~49歳、大崎)
- 地域の公民館などでもっとスポーツ、レクリエーションなどの活動を増やしてほしいです。(30~39歳、登米)
- ①スポーツ偏重を抜本的に見直すこと。勉強もしない、仕事もしない、こんな人だけにスポットライトが当たっている。村井県政も文化予算が大きく後退している。私は国体無用論。1年おき、いや4年に1回でもいいと思っている。
②各自治体の教育委員会、生涯学習課、文化振興課の力量に大きな格差がある。県は強力で指導、助言、監視すべき。課の長はトップセールスマン。10年ぐらいのスパンが望ましいと思います。(50~59歳、仙台)
- ③宮城県芸術年鑑、文芸年鑑等をどうしてやめたのか。体育会系の知事さんだからですか。
- 一番は、子ども、大人の各人が自主的に、自分には何が欠けているか自覚して、勉学に取り組まなければならない。それが一番重要。(30~39歳、栗原)
- 人間、学びを放棄してしまうと進歩もなくなり、楽な方へと進みがちになり、社会全体の発展は希薄なものになって行くような気がします。特にこれからの社会を担っていく子供たちには夢のある自主的な学びの姿勢が生み出されていくことを願っています。(50~59歳、気仙沼・本吉)
- 仙台にだけ大学、専門学校集中するのでなく、地方にも作って下さい。人口(若者)減る。(50~59歳、気仙沼・本吉)
- 受験の為の勉強ではない勉強ができるような社会になってほしい。(50~59歳、仙台市)
- 宮城県は海や山などの自然がたくさんある地域だから子供たちが自然にふれ合えるような行事を増やして欲しい。(20~29歳、仙台)
- 宮城には東北大学でいろいろ開いている出前講座があります。伝統と実績のあるこの機関を有効利用又は目標としていくよう子供達に伝えたい。(無回答、仙台)
- 近年は、開放講座が幅広に行われている。これはよいことと思う。それに伴って企業、公共機関において就職年齢制限(受験年齢、退職年齢等)が自由になれば、自分の能力に応じた仕事が出来ると思う。(50~59歳、石巻)
- 大学、博物館、美術館など、仙台に集中しているので、他地域に住んでいるとなかなか利用できない。(40~49歳、石巻)
- 施設不足等の解消のため、土・日・祝日の学校・教室の利用開放等。(60~69歳、仙台)
- 宮城いきいき学園に参加させていただき60歳過ぎてもとても良かったと思っています(60歳以上の)
- もっと母子・父子家庭への支援や仙台の方だけでなく、どんな田舎でも、子どもたち、乳幼児が気兼ねなく遊べる施設、無料で遊べる場所、安心できる場所などを増やしてほしい。(20~29歳、仙南)
- 大学などでの講座、講演などが行われていたことも知りませんでした。県民にもっと周知を徹底することが必要だとは思いますが、講演会などが本当に必要なのかも疑問です。人が足りないなどの理由から仕方なく聴きに行くこともあります。そんな講演会が必要でしょうか?本当に必要なところにお金をかけてください。(30~39歳、仙南)
- スポーツをするのは大切だが、中学校は夜練等が多く部活中心の学校になっている。勉強がおろそかになり小学校から中学校に上がると成績が下がりすぎる。(30~39歳、栗原)
- 「モンスターペアレンツ」といわれる親が増えているようで、私たち世代の親と若い世代の親の考え、育て方が変わってきているようです。若いお父さん・お母さん方に「子供を育てる」ことに関する、学べる機会が必要なのではと思います。(40~49歳、仙南)
- 親が子供の教育、しつけが出来ないという環境を改善していく為に、父親・母親学級などの企画をもっと積極的に取り組む必要があると思う。(50~59歳、仙台)

<その他の意見>

- 質問項目が多く、回答するのが大変である。もう少し簡潔にすべきだと思います。(60～69 歳、気仙沼・本吉)
- このアンケートに関して、もっと分かり易い文面で質問してほしいと思いました。もっと自由な意見を聞けるよう、読みづらく、堅苦しい質問は少なくした方が良いと思います。教育に関していろいろ考えている人は多いと思いますので、答えやすいように質問してもらいたいです。(20～29 歳、仙南)
- 秋田を見習い、しっかりと取り組んでほしい。(60～69 歳、気仙沼・本吉)
- アンケート結果を今後の取組に生かしてほしいと思います。(30～39 歳、登米)
- 質問が難しく、読むのが大変でした。問題を作った人は、あなたより教養の低い私みたいな者がいることを考えて下さい。回答に2つまでとか3つまでなどがありますが、みんな大切なことで必要なことです。一つでも欠けてはいけません。問題を作った人はどう思いますか。(60～69 歳、登米)
- 子どもも少ないし、親の生活も大変になってきているので。(50～59 歳、仙台市)
- 年齢的にも難しい調査でしたが、参考になれば幸いです。(70 歳以上、登米)
- アンケートの方法ですが無記名方式でもありあまり効果がないのでは。各地域に会場を設けて生の声を聞いた方がいいのではないのでしょうか。(40～49 歳、石巻)
- アンケートに回答しながら宮城の現状をかいまみることができました。誠実にそして忘己利他を信条に「生」をまっとうすることこそ生きる目標にしたいと思いつつながら生活して参りたいと思います。(60～69 歳、石巻)
- 税金の無駄遣いだな！お前らの使う金は税金なんだからもっとまじな使い方考えろ、仕事している国民が泣くぞ！！お前ら能無しか！！馬鹿にすんな！(30～39 歳、仙南)
- いろんな場面、場所での体験をさせ「失敗は成功の素」を身を持って経験させてもらいたいです。(40～49 歳、栗原)
- 教育とは教えることだと思いますが、現在育てることが抜けているのでは？(30～39 歳、仙南)
- まだ子供がいないが、生むときに、ずっとこの宮城を愛せるという環境であってほしいと切に願います。県にも市にも町にも村にも期待しています。自分たちががんばりたい。未来の子供のために！(30～39 歳、大崎)
- 交換留学制度の充実(50～59 歳、石巻)
- 山形の人が言っていたよ。山形県庁は東北大出身者が多いんだそうです。なんで地元なのに宮城県はそうじゃないの？って。どうしてですか？(50～59 歳、仙台市)
- 学校を卒業して無の人間に企業は「即戦力」と言う。あなた達は人間として社会に出てすぐ「即戦力」だったのか？たくさんの人間が「即戦力」に殺されている。世の中を教育しろ。(40～49 歳、栗原)
- 今回のアンケートについて、特にP1～7は専門用語が多く、一般県民へのアンケート調査としては書きづらい。また、内容が重複的なものが多くて選択しづらい。(50～59 歳、気仙沼・本吉)
- タレントのみのもんださんが、言っておりましたが、オリンピックと障害者のオリンピックを区別しないで、報道するべきではないかと言っておりましたが、私も同感です。みのさんは、番組では障害者のオリンピックを同じようにニュースで取り上げておりました。障害のある子供の施設や設備をもっと整えてもらいたいものです。(50～59 歳、気仙沼・本吉)
- 学校教育～社会教育全般に地域の特色あるカリキュラムを編成して活動を推進すべきだと思います。(郷土芸能などへの後継者の育成強化)(60～69 歳、登米)
- 大崎市内に大学校設置是非実施すべき。若者の職場の確保(兼業農家継続のため)若者を定着と人材(優秀)確保のため。(60～69 歳、大崎)
- 高齢者との交流。農家・農業体験を出来る機会を作って、心と体を鍛えてもらいたいです。(40～49 歳、登米)
- 人が人として当たり前前に暮らすことを幼い頃から自然に学ばせるには、英語等の語学より、手話や点字などを自然に学べる、自然に世の中に存在することを良い学びとして経験できる環境にある事の方がこれからの世の中のためだと思う。(40～49 歳、仙南)
- 子ども自身が将来をきちんと考えられるような教育を希望します。(30～39 歳、仙台)
- 本当の意味での「ゆとり」が必要！！(50～59 歳、仙南)
- 子どもに夢と希望を与えられる教育、そして子どもに努力と忍耐を持たせる教育でありたいと思います。(60～69 歳、石巻)
- 教育に少しでも宗教心(普遍的な広い心)が取り入れられたらといつも思っております。(60～69 歳、仙台市)

す。

- 教育は、人格者が行うべきである。私は、京都が好きである。歴史があり、文化遺産が多数あり、木々、川が整備されている。そんな所で育った子どもをうらやましく思う。(50～59 歳、大崎)
- 創造性を育む教育。何事も実体感教育。今の子供たちは苦勞より楽に楽にと考えるので人間としての協調性を学ばさせる事(60～69 歳、仙台市)
- 何事も体験学習が一番だと思う。ただ机の上で学ぶよりはるかに記憶に残り、身に付くものだと思います。(30～39 歳、大崎)
- 私の好きな言葉 この世に裸に生まれて何 不足(60～69 歳、仙台)
- 全員一律でなく個性にあった教育をしたほうが良いのではないか。(60～69 歳、気仙沼・本吉)
- 私の子供は今27歳になりますが、重度の障害を持ち親が全介助しております。健常の子供であるならばと思ひ乍ら答えさせていただきました、とても苦しかったです。障害者を対象でしたら何でも記入できた筈、とても悲しい思いで答えさせていただきました。このような書簡が来る度に悩んでしまいます。選ぶのにもっと配慮してほしいと願います。(60～69 歳、石巻)
- “しごと館”の様な施設が小規模でもあれば未来を担っていく子供たちが幼い頃より色々な仕事に対する興味から早い段階で将来の道を決めていく手助けになる事と思ひます。(40～49 歳、気仙沼・本吉)
- 子供たちは勉強勉強でかわいそうである。(70 歳以上、登米)
- ①日本の風土にヨーロッパのスピリッツを！！
②アンケートによる住民意向がどの程度政策反映されたのか公表すべきである。(パーセンテージで) 回答者への責務と思料する。(50～59 歳、登米)
- ゆとり教育でへこんでしまった学力を取り戻すことも重要ですが、子ども達が窮屈に感じず伸び伸びと育てる環境を望みます。(40～49 歳、仙台市)
- 社会ルールを守れる人格を育成すること。(60～69 歳、仙台市)
- 子どもを叱る時はただ「やめなさい」ではなく、どうしてをれをしてはいけないかをきちんと教えてあげて育ててほしいと思います。(50～59 歳、大崎)
- 夢を持てる教育をしてほしい。(40～49 歳、仙台)
- 今、高齢化社会と騒がれており、老人福祉施設など、年々増加しておりますが、障害を持っている子ども達の働く場がありません。親たちが募金活動をしてはじめて県が動き出すといった形です。もっと障害者にも目を向けてください。(50～59 歳、仙台)
- 子どもはませんが自分の考えでお答えさせていただきました。(60～69 歳、仙台市)
- 全員が大学に進学するわけでもなく、卒業しても就職できない場合もあります。ドイツほどではなくても早くから専門性を掘り下げた教育をしていってもよいのでは？宮城県は虫歯の罹患率も高いので、フッ素うがいなどを取り入れてはどうでしょうか。(40～49 歳、大崎)
- 中・高一緒の方が絶対良いと思います。大学は入りたい処に入り、卒業を難しくすれは入っただけでなく入ってから勉強するのは・・・。(60～69 歳、仙台市)
- 学校は学問を指導する場所ですが、もっと子供たちを自然にふれさせて心豊かにして高校も国が養うべきです。専門学校、大学は自由に個人の意見で行かせて押しつけないであげてほしい。一度きりの人生です、アニマルペット達も人間の勝手に一週間で処分されている、なんとおろかな大人達。(子供たちの方がやさしさをもっています)(50～59 歳、仙台市)
- 自分は僧侶であります。声高く良いことをしまししょう、悪いことはしないように、と自分が毎日曜日寺子屋で言っています。子どもに言っても親がダメ。我々世代の親場その親を教育してきたので、そのあいまいさが今に出ているのでしょうか。宗教家がダメなのだと思ひ反省しています。残された時間を子どもの教育にと思っています。(60～69 歳、仙台)
- 先日の敬老の日に、小Pをお願いしてお年寄りの肩もみとゲームをしたところ、どちらからも大変喜ばれました。そこから何か生まれたような気がしました。1時間半かかってやっとアンケート終わります。(50～59 歳、栗原)
- 最も効果的な教育は大人達が自らの生きる社会を改善する努力を続けることである。他県ではボランティア活動への参加を内申に反映させているそうだが、見返りを求めないのがボランティアの本質であることを教えることこそ教育だと思う。(40～49 歳、大崎)

- ①子供にもどんな日本ならいいとか、どんな大人になりたいかとか、どんな事に興味があるだとか、とにかく色々聞いてみたらいいのでは？何か気づきもしなかったことが良い悪いに関わらず見えてくるかも？②今の20歳付近の学生だのフリーターだのは使い物にならない。「ゆとり」ありすぎと違いますか？仕事に対する責任感や自主性や、おまけに体力もない。これで知力もないときたら宮城ならず日本は終わってしまいます。(30～39歳、仙南)
- 宮城の経済の活性化だけでなく、自然環境・自然遺産を大切に育む教育、そして第一基幹産業である農業を、そしてそれを取り巻く自然環境の大切さ、食の大切さ、つくる喜びを味わえる教育環境がますます重要になってくると思います。(60～69歳、栗原)
- 近年は、開放講座が幅広に行われている。これはよいことと思う。それに伴って企業、公共機関において就職年齢制限（受験年齢、退職年齢等）が自由になれば、自分の能力に応じた仕事が出来ると思う。(50～59歳、石巻)
- 家庭の経済格差が学力に影響を多大に与えていることを改善せねば、今後学力差は益々広がるであろう。総合的な学習は必要なのであろうか。(40～49歳、大崎)